

# ご説明資料

播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況等について

2026年1月14日

西日本旅客鉄道株式会社

# 目次

■ ローカル線に関する課題認識	.....	P2
■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況	.....	P3
1. 駅別乗車人員	.....	P3
2. 用語説明「輸送密度」	.....	P4
3. 沿線人口とご利用状況（輸送密度）の推移	.....	P5
4. 沿線人口・ご利用状況（輸送密度）・列車本数の推移	.....	P6
5. 播但線全線ご利用状況（輸送密度）	.....	P7
6. 時間帯別ご利用状況	.....	P8
■ 播但線沿線の道路整備状況	.....	P25
■ 鉄道・バスの運行状況	.....	P26
■ 播但線（寺前駅～和田山駅）沿線の主な観光地	.....	P27
■ 播但線における利用促進の主な取り組み	.....	P28
■ 播但線に関するこれまでの検討状況等	.....	P29
■ 播但線（寺前駅～和田山駅）沿線の移動特性等の詳細資料	.....	P30
■ 沿線エリアの人口推移と将来予測について	.....	P31
■ 播但線沿線居住者の移動特性（R2国勢調査 通勤・通学流動）	.....	P32

・地域の皆様にもご協力いただきながら、さまざまな利用促進を進めている。一方で、沿線の人口減少や少子化、マイカー利用の普及、道路整備、道路を中心としたまちづくりの進展等、**取り巻く環境は大きく変化**

・鉄道はバスやタクシー、自家用車等の道路交通と比べてきめ細かな移動ニーズにお応えできないこともあり、線区によっては、ご利用が大きく減少し、**沿線にお住いの方のお役に立っていない**と考えられる

・特に輸送密度が2,000人/日未満の線区は、大量輸送機関としての鉄道の特性が発揮できておらず、このままの形で**維持していくことは非常に難しい**

・CO<sub>2</sub>排出の面でも、現状のご利用実態では、必ずしも鉄道の環境優位性を発揮できていない

・地域交通は鉄道に限らずバス・タクシーを含め厳しい状況にあり、これは当社の課題であり、地域社会全体の課題

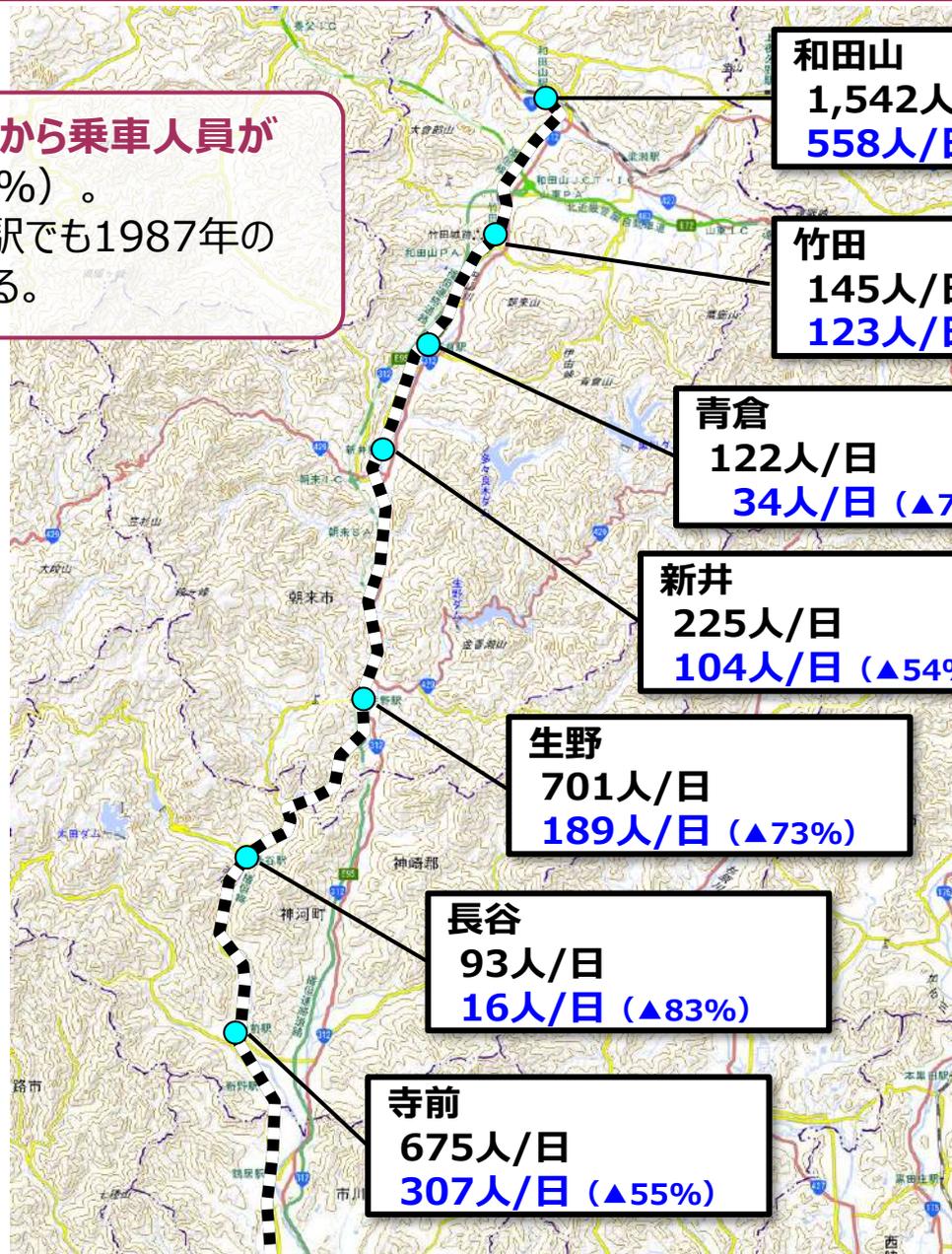


**持続可能な地域社会の実現**に向け、**線区**の**特性**や**移動ニーズ**を踏まえ、地域のまちづくりに合わせた、ご利用しやすい**最適な地域交通体系**を地域と共に模索・実現したいと考えている

# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 1. 駅別乗車人員

- ・竹田駅を除き各駅では**1987年から乗車人員が大幅に減少**（変化率54%～83%）。
- ・和田山駅、寺前駅といった拠点駅でも1987年の乗車人員の半数以上減少している。



【駅名】

1987年度

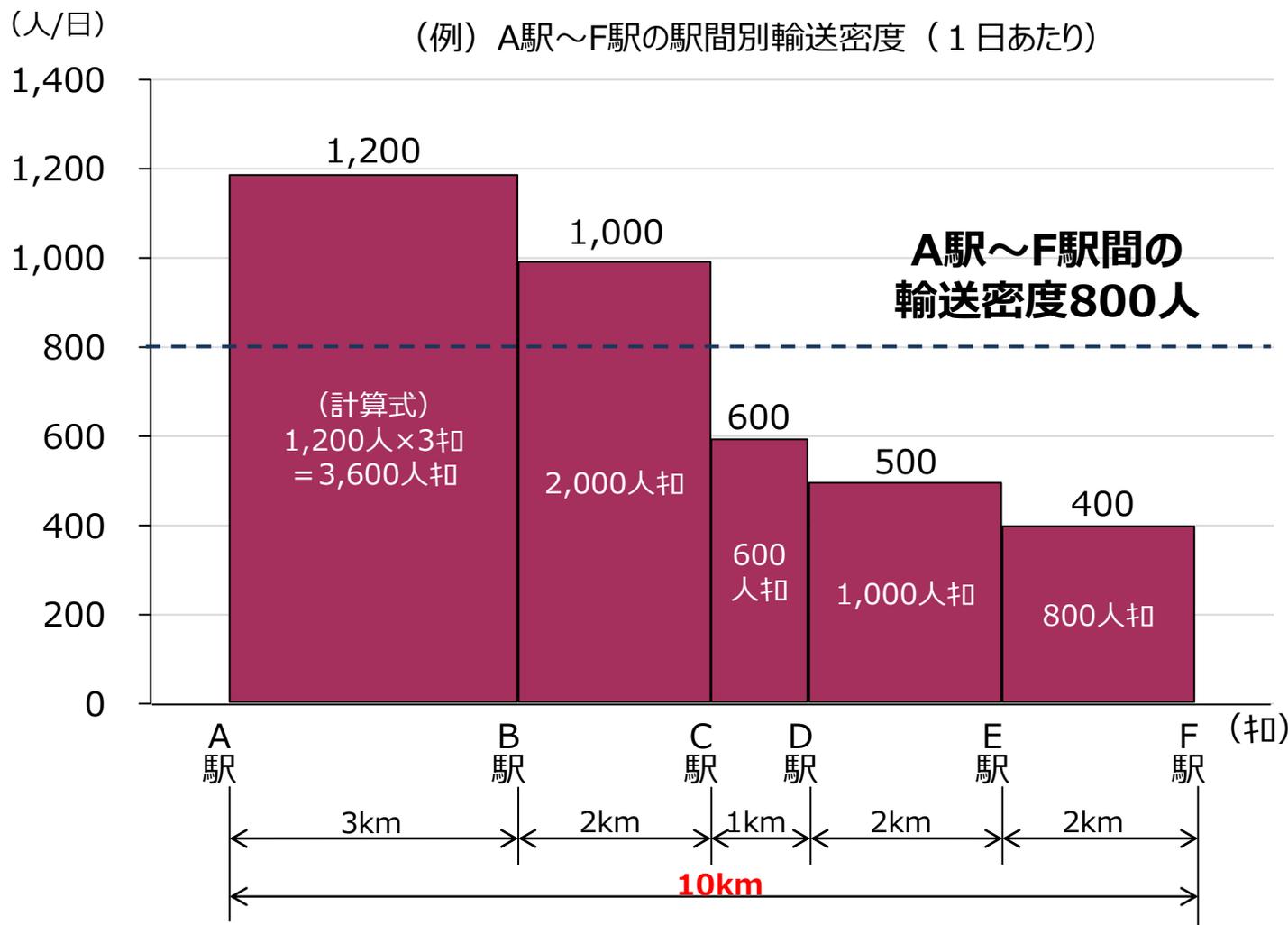
2024年度 (変化率)

<駅別乗車人員について>

- ・単位は「人/日(年度平均)」である。
- ・一定の前提を置いて計算した数値である。

## 2. 用語説明「輸送密度」 次スライド以降頻出

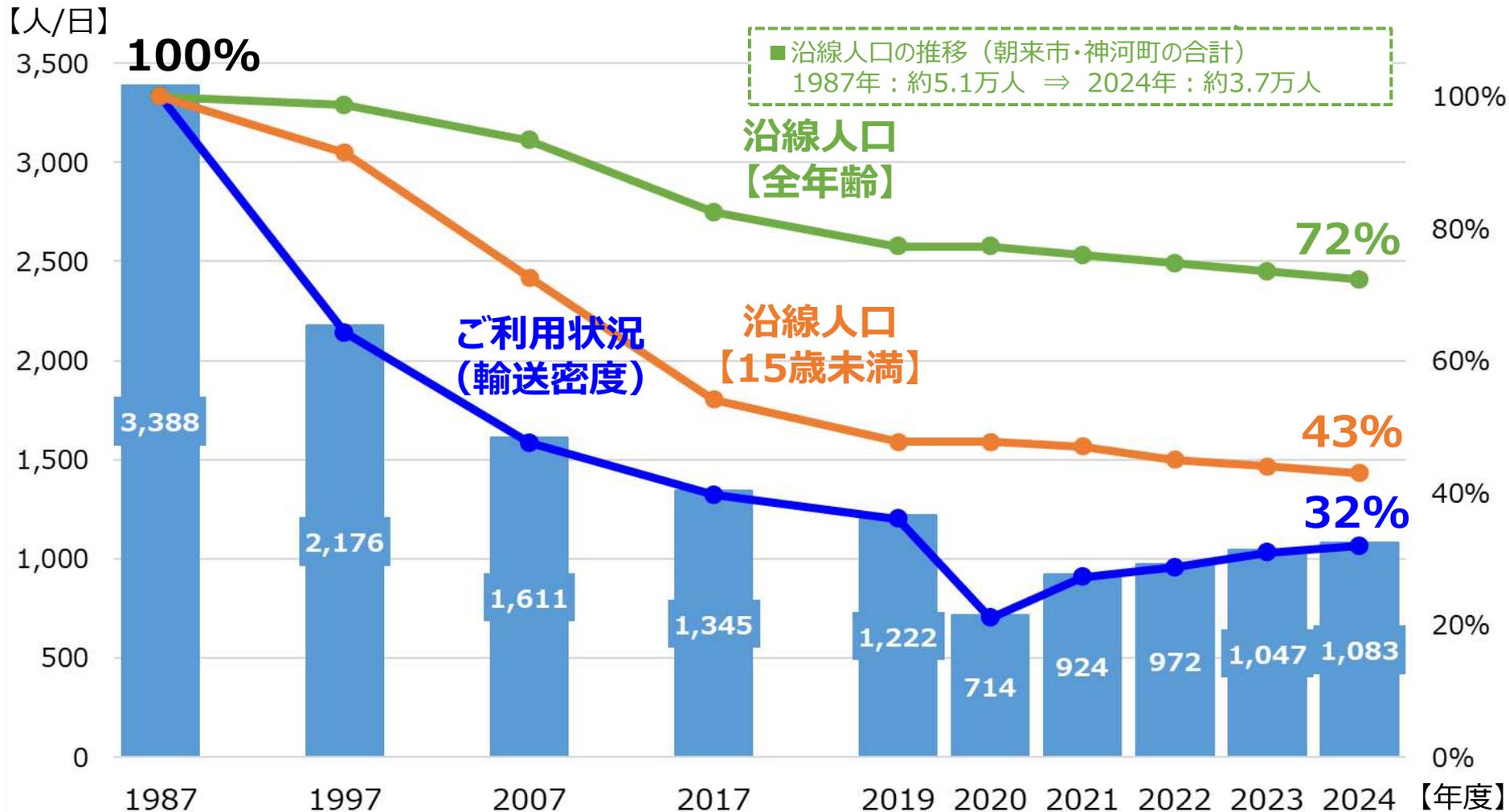
- ・線区全体のお客様のご利用状況には、駅間ごとに凹凸があるのが一般的
- ・この凹凸をならした、**区間全体の1日1kmあたりの平均人員**を「**輸送密度**」という



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 3. 沿線人口とご利用状況（輸送密度）の推移

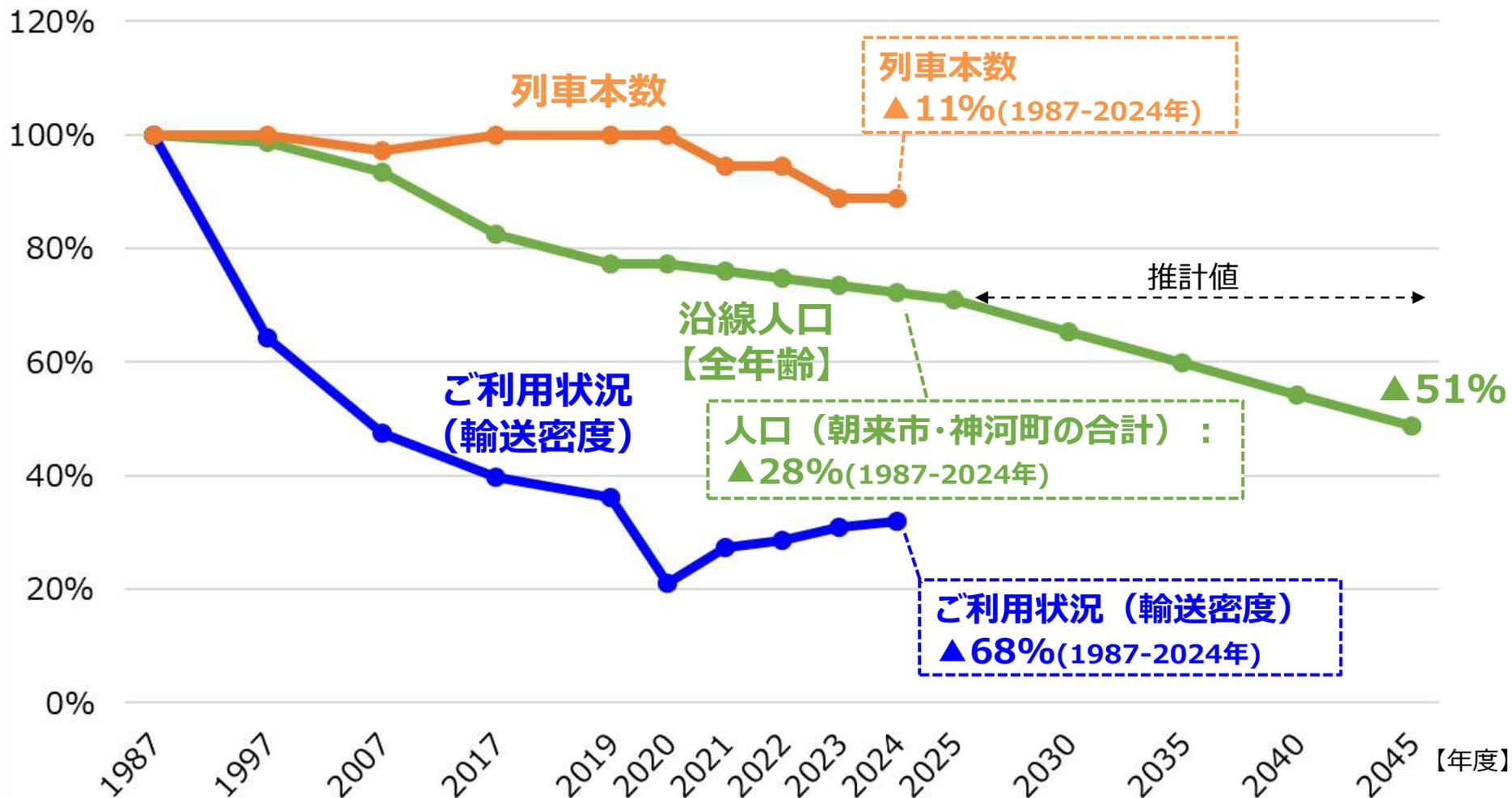
- ・ご利用状況は1987年の輸送密度の32%まで減少。沿線人口の減少率を上回るペースで減少している
- ・2024年度の輸送密度は1,083人/日であり、大量輸送という観点で鉄道の特性を発揮できていない



出典：国勢調査、兵庫県HP（将来人口・推計）、JR西日本データ  
※一部人口データについては該当年度に近い年度の国勢調査結果を参考にしてている。

## 4. 沿線人口・ご利用状況（輸送密度）・列車本数の推移

- ・1987年から2024年にかけて沿線人口の減少率28%に対し、ご利用状況は68%も減少
- ・列車本数は1987年から11%程度の減少



出典：国勢調査、兵庫県HP（将来人口・推計）、JR西日本データ  
 ※一部人口データについては該当年度に近い年度の国勢調査結果を参考としている。

## 5. 播但線全線ご利用状況（輸送密度）

<2024年度輸送密度>

(人/日)

20000

15000

10000

5000

0

(平日)  
(休日)

下り30本、上り28本  
下り30本、上り27本

上下各13本  
上下各13本

姫路

寺前

和田山

2024年度 **7,852人/日**

2024年度 **1,083人/日**

2023年度 7,831人/日

2023年度 1,047人/日

2022年度 7,539人/日

2022年度 972人/日

2021年度 7,079人/日

2021年度 924人/日

2020年度 6,577人/日

2020年度 714人/日

2019年度 **8,725人/日**

2019年度 **1,222人/日**

**90.0%**  
(2019比)

**88.6%**  
(2019比)

- ・姫路駅から和田山駅方面にかけて輸送密度は減少。
- ・寺前駅～和田山駅区間は1,083人/日と特にご利用が少ない。

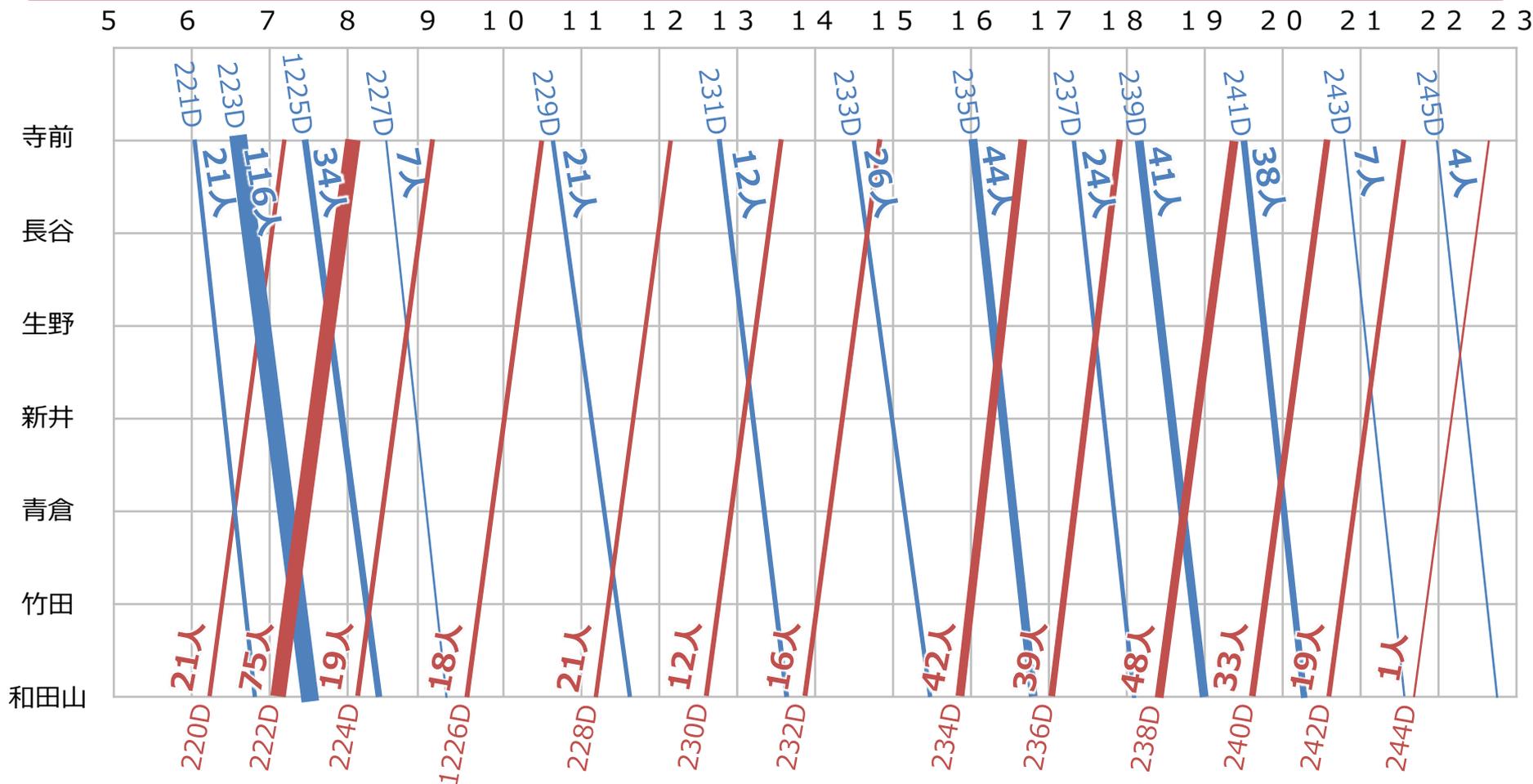
## 6. 時間帯別ご利用状況

【平日】2024/11/13（水）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

- ・下りは223D（寺前駅6:38発）の116人、上りは222D（和田山駅7:09発）の75人が最大であり、上下ともに朝RTのご利用が最も多い
- ・朝夕の通勤通学時間帯以外（8時～15時）では7人～26人程度のご利用状況



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 6. 時間帯別ご利用状況

【平日】2024/11/13（水）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(下り)

駅間\列車番号	221D (6:02発)	223D (6:38発)	1225D (7:26発)	227D (8:28発)	229D (10:41発)	231D (12:48発)	233D (14:35発)	235D (16:03発)	237D (17:16発)	239D (18:13発)	241D (19:25発)	243D (20:49発)	245D (21:59発)	合計
両数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
寺前～長谷	1	8	32	4	21	12	26	20	21	14	38	7	4	208
長谷～生野	1	9	34	4	20	12	26	19	20	13	14	7	3	182
生野～新井	3	30	16	5	20	11	22	44	24	41	12	7	1	236
新井～青倉	10	66	17	5	16	10	17	36	22	30	12	6	0	247
青倉～竹田	17	74	19	6	16	10	16	32	20	26	11	6	0	253
竹田～和田山	21	116	19	7	17	9	19	26	17	22	7	3	0	283

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(上り)

駅間\列車番号	220D (6:13発)	222D (7:09発)	224D (8:11発)	1226D (9:29発)	228D (11:11発)	230D (12:38発)	232D (13:56発)	234D (15:49発)	236D (17:01発)	238D (18:27発)	240D (19:37発)	242D (20:37)	244D (21:47発)	合計
両数	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
和田山～竹田	8	36	14	18	7	12	15	42	39	48	33	19	1	292
竹田～青倉	8	50	16	17	13	10	13	20	33	40	30	17	0	267
青倉～新井	10	52	17	17	13	9	12	19	28	33	28	15	0	253
新井～生野	13	75	17	18	16	9	14	10	18	26	14	9	0	239
生野～長谷	19	22	19	18	21	6	16	23	17	13	14	6	0	194
長谷～寺前	21	23	19	18	21	7	16	23	18	36	14	6	0	222

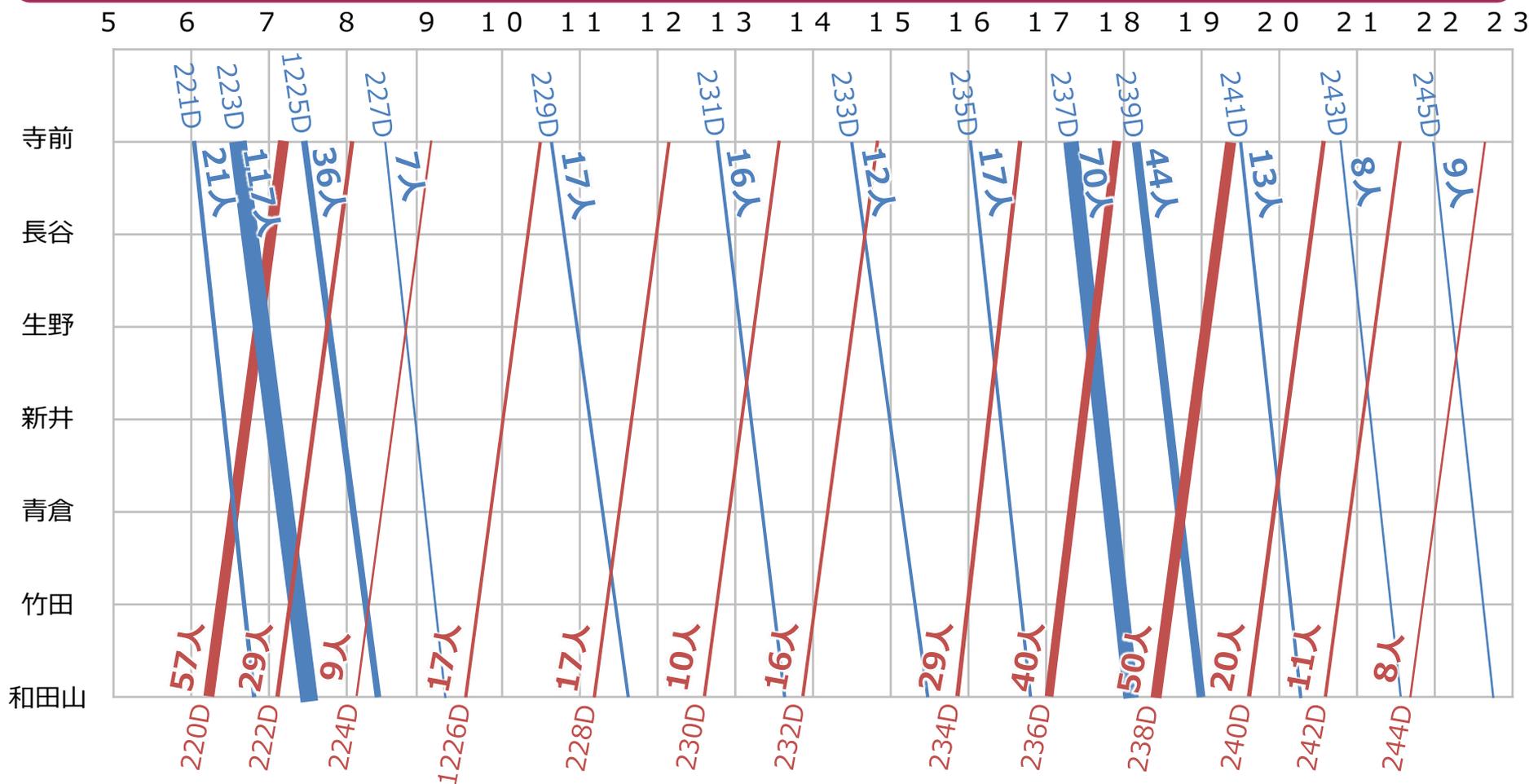
## 6. 時間帯別ご利用状況

【平日】2024/11/14（木）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

- ・下りは223D（寺前駅6:38発）の117人、上りは220D（和田山駅6:13発）の57人が最大であり、上下ともに朝RTのご利用が最も多い
- ・朝夕の通勤通学時間帯以外（8時～15時）では7人～17人程度のご利用状況



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 6. 時間帯別ご利用状況

【平日】2024/11/14（木）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(下り)

駅間\列車番号	221D (6:02発)	223D (6:38発)	1225D (7:26発)	227D (8:28発)	229D (10:41発)	231D (12:48発)	233D (14:35発)	235D (16:03発)	237D (17:16発)	239D (18:13発)	241D (19:25発)	243D (20:49発)	245D (21:59発)	合計
両数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
寺前～長谷	1	5	32	7	17	15	12	17	26	25	13	8	9	187
長谷～生野	1	6	36	7	16	14	12	15	26	24	13	7	8	185
生野～新井	2	27	18	6	16	15	8	10	70	44	11	6	7	240
新井～青倉	9	66	19	5	15	16	6	10	52	32	9	5	7	251
青倉～竹田	15	79	20	5	15	15	6	11	49	29	8	5	6	263
竹田～和田山	21	117	20	6	13	12	10	17	40	26	8	3	6	299

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(上り)

駅間\列車番号	220D (6:13発)	222D (7:09発)	224D (8:11発)	1226D (9:29発)	228D (11:11発)	230D (12:38発)	232D (13:56発)	234D (15:49発)	236D (17:01発)	238D (18:27発)	240D (19:37発)	242D (20:37)	244D (21:47発)	合計
両数	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
和田山～竹田	34	17	7	14	17	9	16	26	40	50	20	11	8	269
竹田～青倉	38	22	6	12	13	7	13	29	22	45	19	8	7	241
青倉～新井	43	24	7	12	13	7	13	27	20	41	16	6	6	235
新井～生野	57	29	9	12	13	7	16	24	9	23	6	4	6	215
生野～長谷	29	10	8	15	14	10	16	23	15	21	7	3	6	177
長谷～寺前	32	12	8	17	14	10	15	23	17	19	7	2	6	182

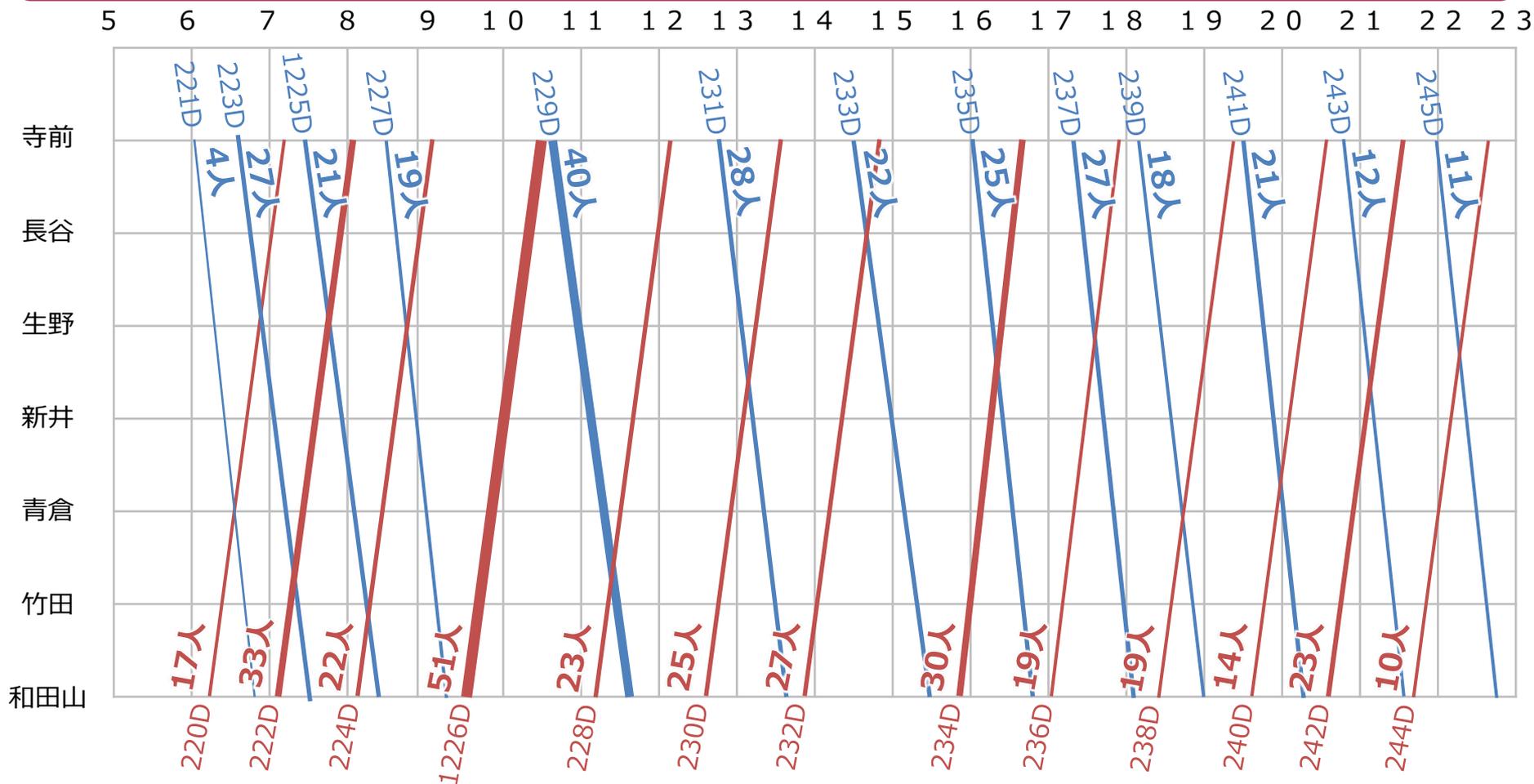
## 6. 時間帯別ご利用状況

【休日】2024/11/9（土） 調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

- ・下りは229D（寺前駅10:41発）の40人、上りは1226D（和田山駅9:29発）の51人が最大であり、上下ともにDTのご利用が最も多い
- ・それ以外列車では4人～30人程度のご利用状況



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 6. 時間帯別ご利用状況

【休日】2024/11/9（土）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(下り)

駅間\列車番号	221D (6:02発)	223D (6:38発)	1225D (7:26発)	227D (8:28発)	229D (10:41発)	231D (12:48発)	233D (14:35発)	235D (16:03発)	237D (17:16発)	239D (18:13発)	241D (19:25発)	243D (20:49発)	245D (21:59発)	合計
両数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
寺前～長谷	1	11	14	17	33	23	22	24	27	18	21	12	11	234
長谷～生野	1	10	14	17	33	22	22	23	24	17	20	11	11	225
生野～新井	1	14	16	19	40	27	20	23	21	17	17	9	7	231
新井～青倉	3	23	17	17	37	28	20	24	20	16	16	8	7	236
青倉～竹田	3	25	19	17	34	27	20	24	19	15	15	8	7	233
竹田～和田山	4	27	21	13	33	26	16	25	19	11	13	6	4	218

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(上り)

駅間\列車番号	220D (6:13発)	222D (7:09発)	224D (8:11発)	1226D (9:29発)	228D (11:11発)	230D (12:38発)	232D (13:56発)	234D (15:49発)	236D (17:01発)	238D (18:27発)	240D (19:37発)	242D (20:37)	244D (21:47発)	合計
両数	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
和田山～竹田	16	24	16	33	16	19	19	26	13	19	14	23	9	247
竹田～青倉	13	26	21	43	17	25	27	30	15	15	12	22	10	276
青倉～新井	16	28	22	43	17	23	27	30	15	15	10	19	9	274
新井～生野	16	33	22	45	17	19	27	27	15	14	8	18	9	269
生野～長谷	17	25	18	51	23	21	18	28	15	9	7	17	5	254
長谷～寺前	17	27	19	51	22	21	18	28	19	9	7	17	5	260

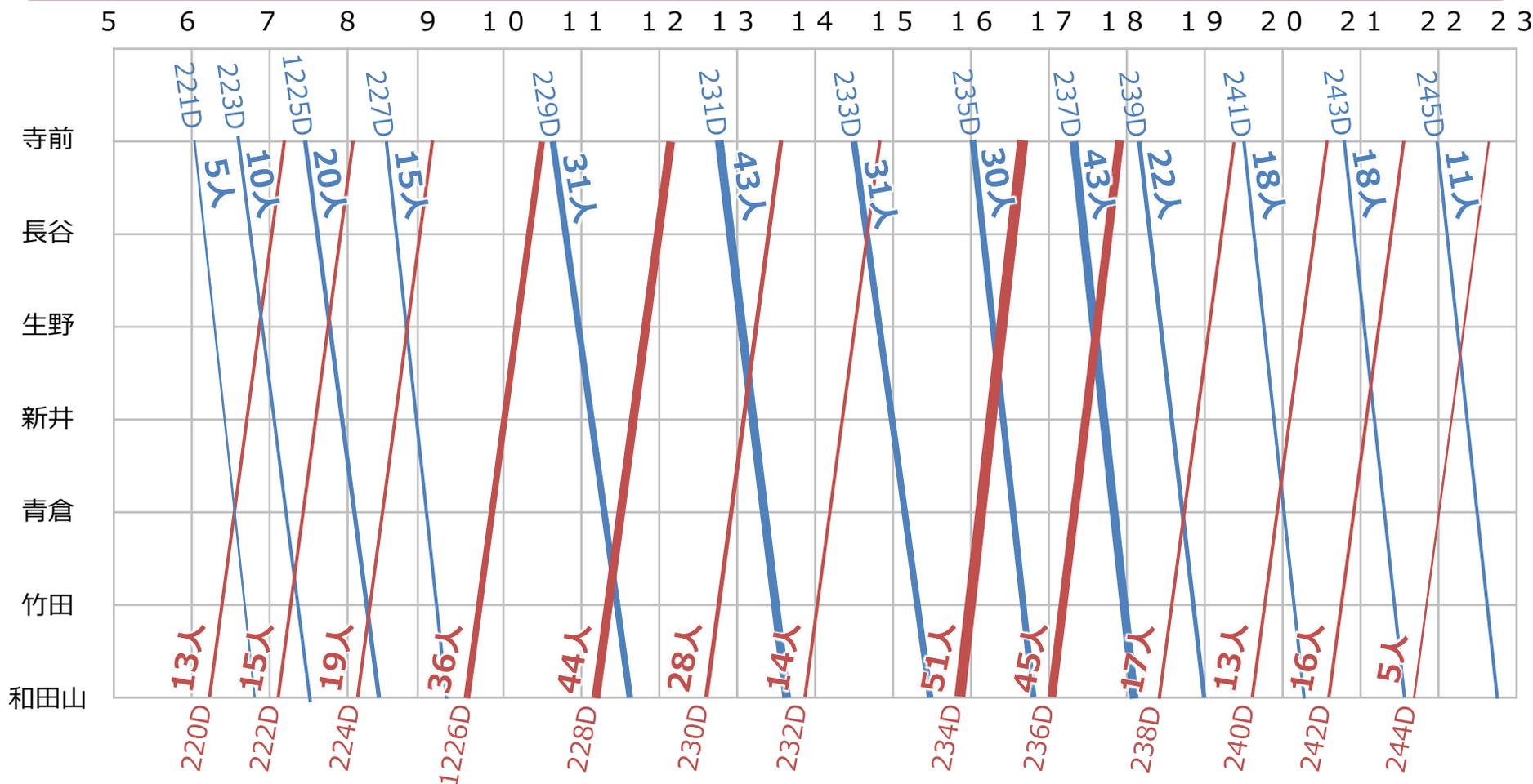
## 6. 時間帯別ご利用状況

【休日】2024/11/17（日）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

- ・下りは231D（寺前駅12:48発）・237D（17:16発）の43人、上りは234D（和田山駅15:49発）の51人が最大であり、上下ともにDT以降のご利用が最も多い
- ・それ以外列車では5人～51人程度のご利用状況



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 6. 時間帯別ご利用状況

【休日】2024/11/17（日）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(下り)

駅間\列車番号	221D (6:02発)	223D (6:38発)	1225D (7:26発)	227D (8:28発)	229D (10:41発)	231D (12:48発)	233D (14:35発)	235D (16:03発)	237D (17:16発)	239D (18:13発)	241D (19:25発)	243D (20:49発)	245D (21:59発)	合計
両数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
寺前～長谷	1	5	13	14	31	43	29	23	43	22	18	18	11	271
長谷～生野	1	5	13	14	31	43	28	22	43	22	18	18	11	269
生野～新井	1	9	10	12	19	18	29	30	27	19	17	16	9	216
新井～青倉	4	10	13	12	20	20	31	27	26	18	14	15	6	216
青倉～竹田	4	10	18	13	21	20	31	26	26	16	10	15	3	213
竹田～和田山	5	7	20	15	22	24	22	27	19	14	10	10	2	197

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(上り)

駅間\列車番号	220D (6:13発)	222D (7:09発)	224D (8:11発)	1226D (9:29発)	228D (11:11発)	230D (12:38発)	232D (13:56発)	234D (15:49発)	236D (17:01発)	238D (18:27発)	240D (19:37発)	242D (20:37)	244D (21:47発)	合計
両数	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
和田山～竹田	13	9	6	28	25	19	12	30	45	17	12	16	5	237
竹田～青倉	6	8	12	35	43	26	13	31	38	14	13	15	3	257
青倉～新井	6	8	12	35	43	26	13	31	38	14	12	12	3	253
新井～生野	6	15	13	33	43	26	14	29	35	13	10	11	3	251
生野～長谷	6	9	19	35	44	28	12	49	32	15	10	10	2	271
長谷～寺前	6	10	19	36	44	28	12	51	32	16	10	10	2	276

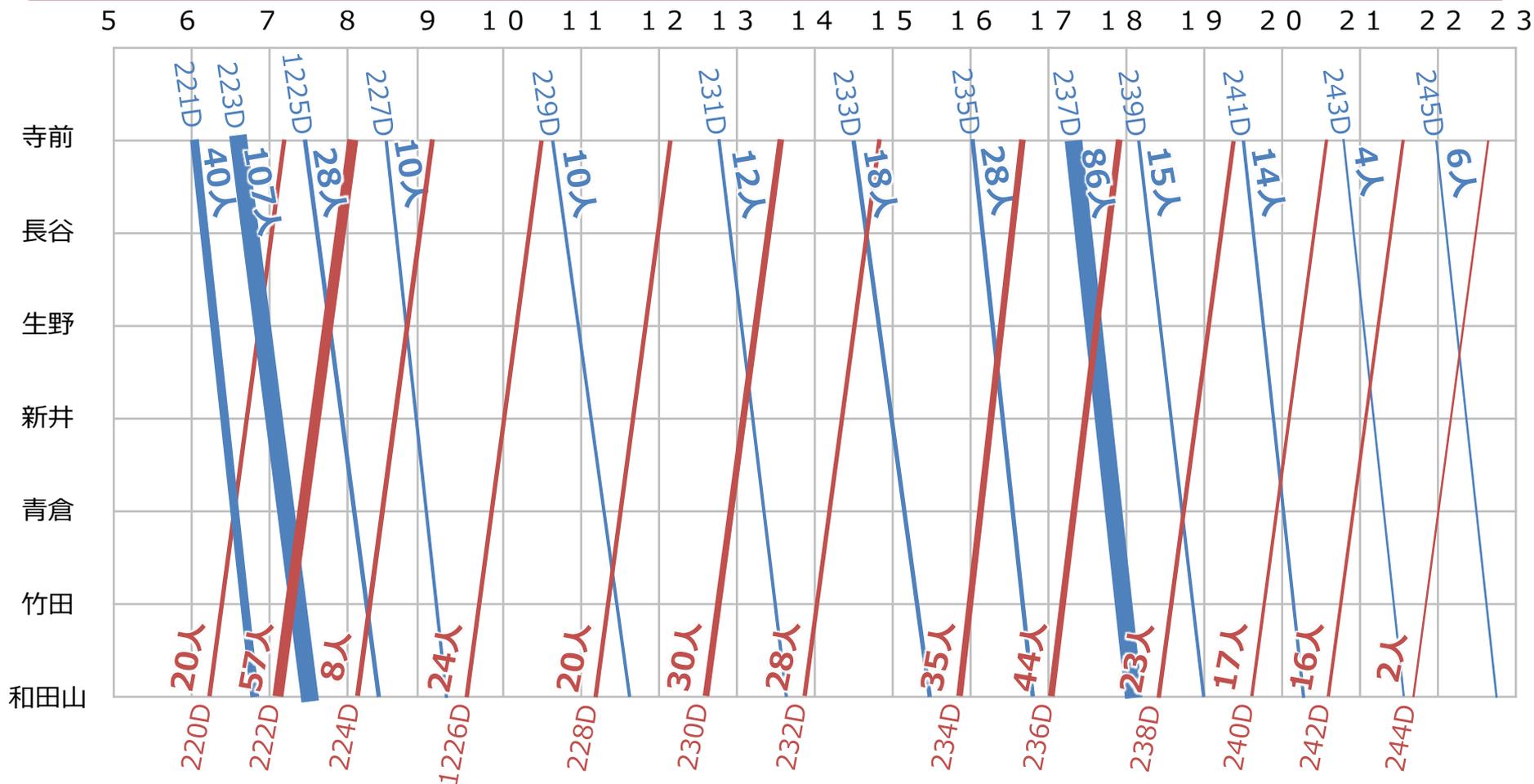
## 6. 時間帯別ご利用状況

【平日】2025/10/9（木）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

- ・下りは223D（寺前駅6:38発）の107人、上りは222D（和田山駅7:09発）の57人が最大であり、上下ともに朝RTのご利用が最も多い
- ・朝夕の通勤通学時間帯以外（8時～15時）では8人～30人程度のご利用状況



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 6. 時間帯別ご利用状況

【平日】2025/10/9（木）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(下り)

駅間\列車番号	221D (6:02発)	223D (6:38発)	1225D (7:26発)	227D (8:28発)	229D (10:41発)	231D (12:48発)	233D (14:35発)	235D (16:03発)	237D (17:16発)	239D (18:13発)	241D (19:25発)	243D (20:49発)	245D (21:59発)	合計
両数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
寺前～長谷	0	9	28	9	10	11	17	25	19	13	14	4	6	165
長谷～生野	0	10	28	9	8	9	18	25	18	13	14	4	4	160
生野～新井	4	22	16	10	8	7	15	21	86	15	13	3	0	220
新井～青倉	24	46	16	8	8	9	15	23	64	9	12	3	0	237
青倉～竹田	33	60	21	8	8	10	14	23	60	9	11	2	0	259
竹田～和田山	40	107	20	10	9	12	13	28	50	8	11	3	0	311

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(上り)

駅間\列車番号	220D (6:13発)	222D (7:09発)	224D (8:11発)	1226D (9:29発)	228D (11:11発)	230D (12:38発)	232D (13:56発)	234D (15:49発)	236D (17:01発)	238D (18:27発)	240D (19:37発)	242D (20:37)	244D (21:47発)	合計
両数	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
和田山～竹田	6	30	8	20	17	24	28	35	44	23	17	16	2	270
竹田～青倉	6	42	3	24	20	30	27	24	37	17	17	13	2	262
青倉～新井	9	44	4	24	18	27	24	23	29	14	14	12	2	244
新井～生野	12	57	6	21	16	23	18	19	17	7	10	7	2	215
生野～長谷	17	14	7	20	14	19	18	18	31	6	7	5	2	178
長谷～寺前	20	14	7	20	13	19	20	19	32	5	7	5	2	183

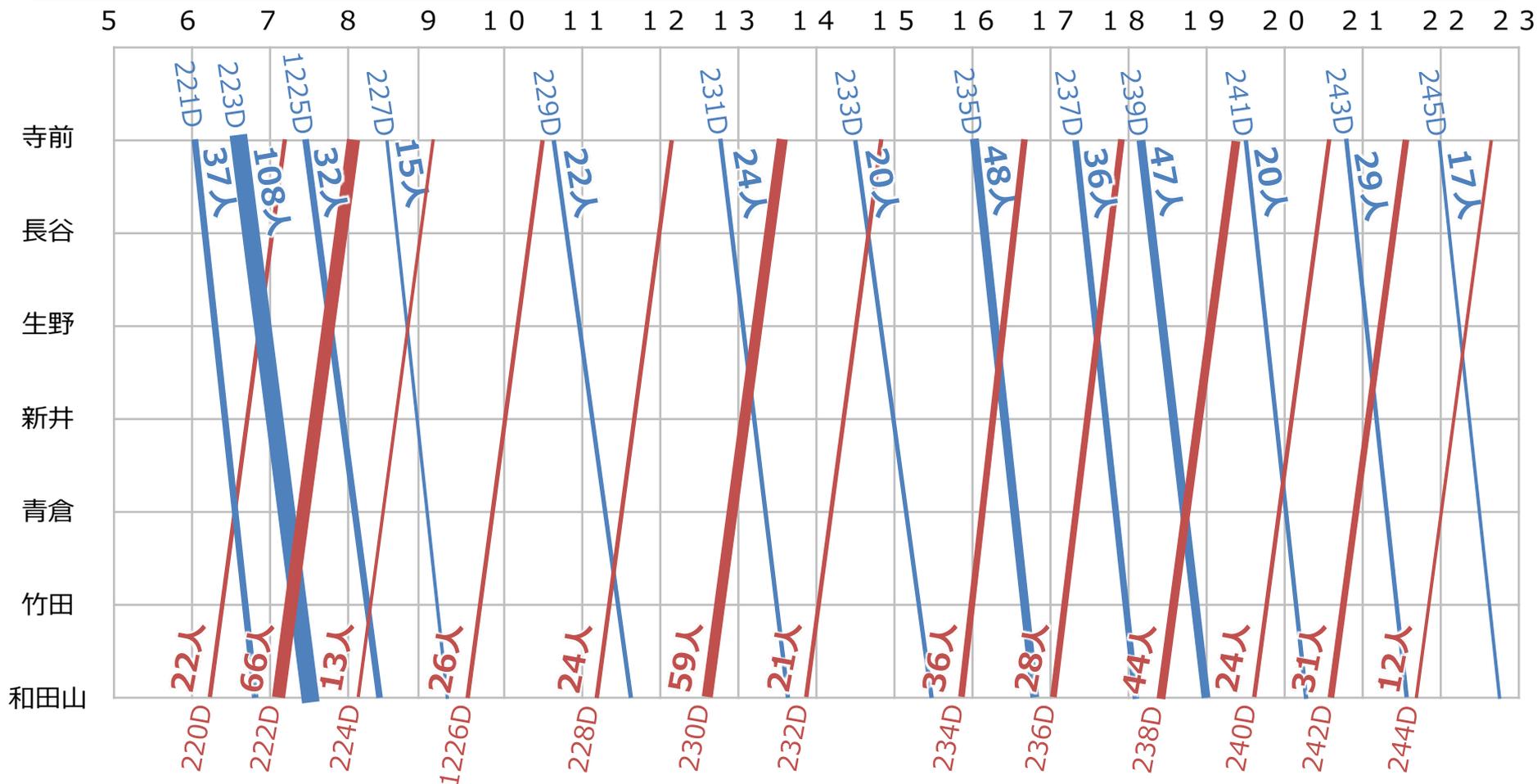
## 6. 時間帯別ご利用状況

【平日】2025/10/10（金）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

- ・下りは223D（寺前駅6:38発）の108人、上りは222D（和田山駅7:09発）の66人が最大であり、上下ともに朝RTのご利用が最も多い
- ・朝夕の通勤通学時間帯以外（8時～15時）では13人～59人程度のご利用状況



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 6. 時間帯別ご利用状況

【平日】2025/10/10（金）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(下り)

駅間\列車番号	221D (6:02発)	223D (6:38発)	1225D (7:26発)	227D (8:28発)	229D (10:41発)	231D (12:48発)	233D (14:35発)	235D (16:03発)	237D (17:16発)	239D (18:13発)	241D (19:25発)	243D (20:49発)	245D (21:59発)	合計
両数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
寺前～長谷	1	6	32	8	22	13	20	35	36	37	20	29	17	276
長谷～生野	1	7	32	8	20	13	17	34	36	35	20	28	15	266
生野～新井	6	15	18	12	19	18	14	48	36	47	19	22	13	287
新井～青倉	25	39	20	13	19	17	14	41	32	36	16	18	12	302
青倉～竹田	32	48	20	15	19	17	13	40	30	33	16	17	9	309
竹田～和田山	37	108	22	11	14	24	11	40	24	31	16	12	7	357

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(上り)

駅間\列車番号	220D (6:13発)	222D (7:09発)	224D (8:11発)	1226D (9:29発)	228D (11:11発)	230D (12:38発)	232D (13:56発)	234D (15:49発)	236D (17:01発)	238D (18:27発)	240D (19:37発)	242D (20:37)	244D (21:47発)	合計
両数	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
和田山～竹田	5	37	13	26	24	59	20	36	28	44	24	31	12	359
竹田～青倉	5	52	6	22	22	46	21	31	19	37	23	30	12	326
青倉～新井	7	53	6	22	23	41	20	28	18	37	21	29	11	316
新井～生野	13	66	6	22	21	27	15	20	13	31	18	24	8	284
生野～長谷	20	18	8	25	15	35	15	27	10	25	19	23	4	244
長谷～寺前	22	21	9	25	16	36	15	28	11	25	19	23	4	254

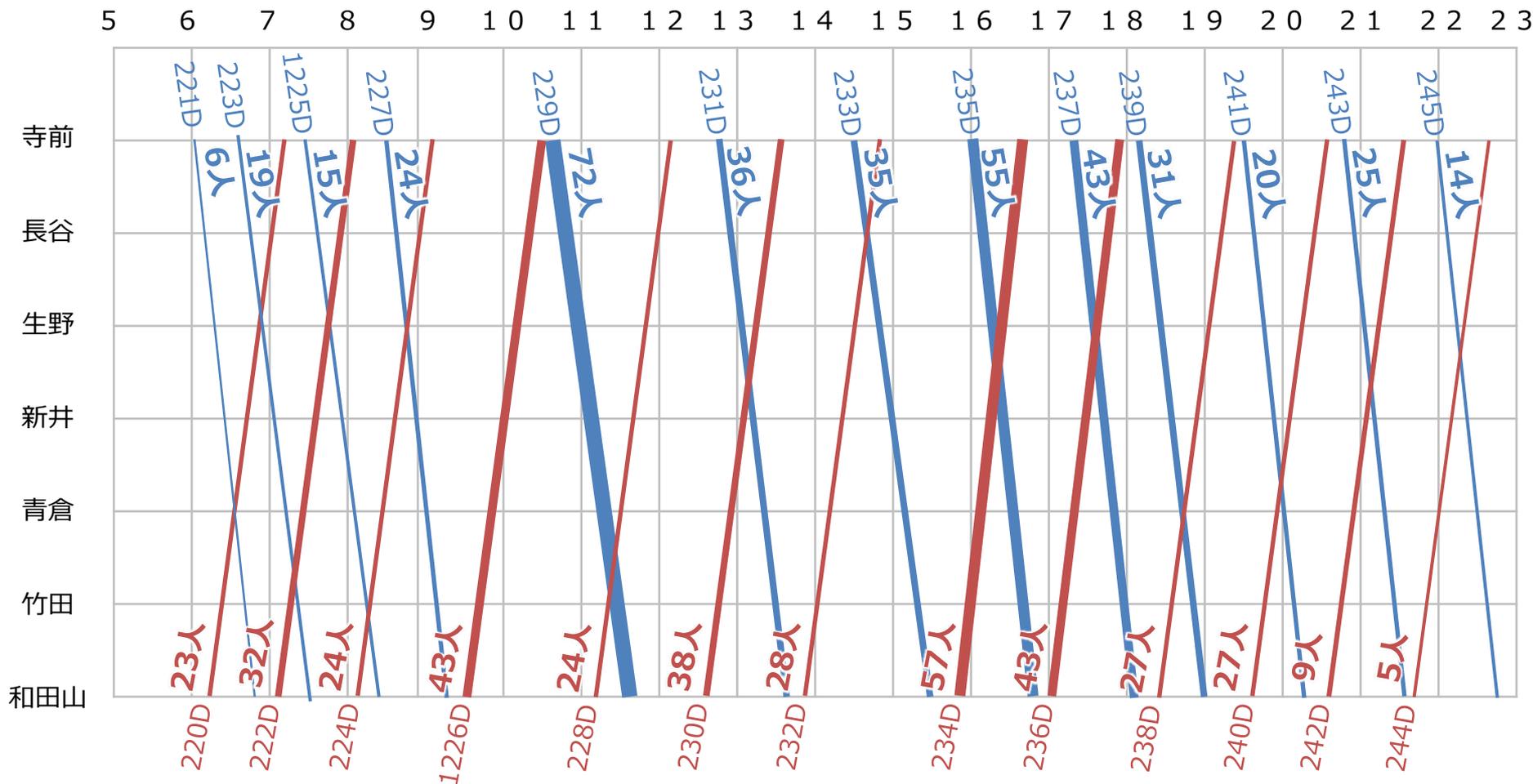
## 6. 時間帯別ご利用状況

【休日】2025/10/11（土）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

- ・下りは229D（寺前駅10:41発）の72人、上りは234D（和田山駅15:49発）の57人が最大であり、上下ともにDTのご利用が最も多い
- ・それ以外列車では5人～55人程度のご利用状況



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

## 6. 時間帯別ご利用状況

【休日】2025/10/11（土）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(下り)

駅間\列車番号	221D (6:02発)	223D (6:38発)	1225D (7:26発)	227D (8:28発)	229D (10:41発)	231D (12:48発)	233D (14:35発)	235D (16:03発)	237D (17:16発)	239D (18:13発)	241D (19:25発)	243D (20:49発)	245D (21:59発)	合計
両数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
寺前～長谷	1	8	15	24	72	32	35	55	42	31	20	16	14	365
長谷～生野	0	8	13	24	70	32	34	52	43	31	20	14	13	354
生野～新井	0	11	11	23	61	36	33	43	36	28	15	11	10	318
新井～青倉	4	16	11	22	56	34	30	43	34	22	15	11	8	306
青倉～竹田	6	17	12	22	56	31	29	42	33	22	13	11	8	302
竹田～和田山	6	19	12	14	47	30	16	36	33	20	17	25	8	283

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(上り)

駅間\列車番号	220D (6:13発)	222D (7:09発)	224D (8:11発)	1226D (9:29発)	228D (11:11発)	230D (12:38発)	232D (13:56発)	234D (15:49発)	236D (17:01発)	238D (18:27発)	240D (19:37発)	242D (20:37)	244D (21:47発)	合計
両数	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
和田山～竹田	4	19	15	43	16	27	28	52	43	27	27	7	5	313
竹田～青倉	9	21	18	40	23	32	25	52	31	21	20	7	5	304
青倉～新井	11	21	19	40	23	32	23	53	31	19	16	7	3	298
新井～生野	13	32	22	41	24	34	20	57	28	17	12	6	2	308
生野～長谷	19	28	24	40	20	38	20	56	28	15	12	9	2	311
長谷～寺前	23	28	24	43	20	38	21	56	29	15	12	8	2	319

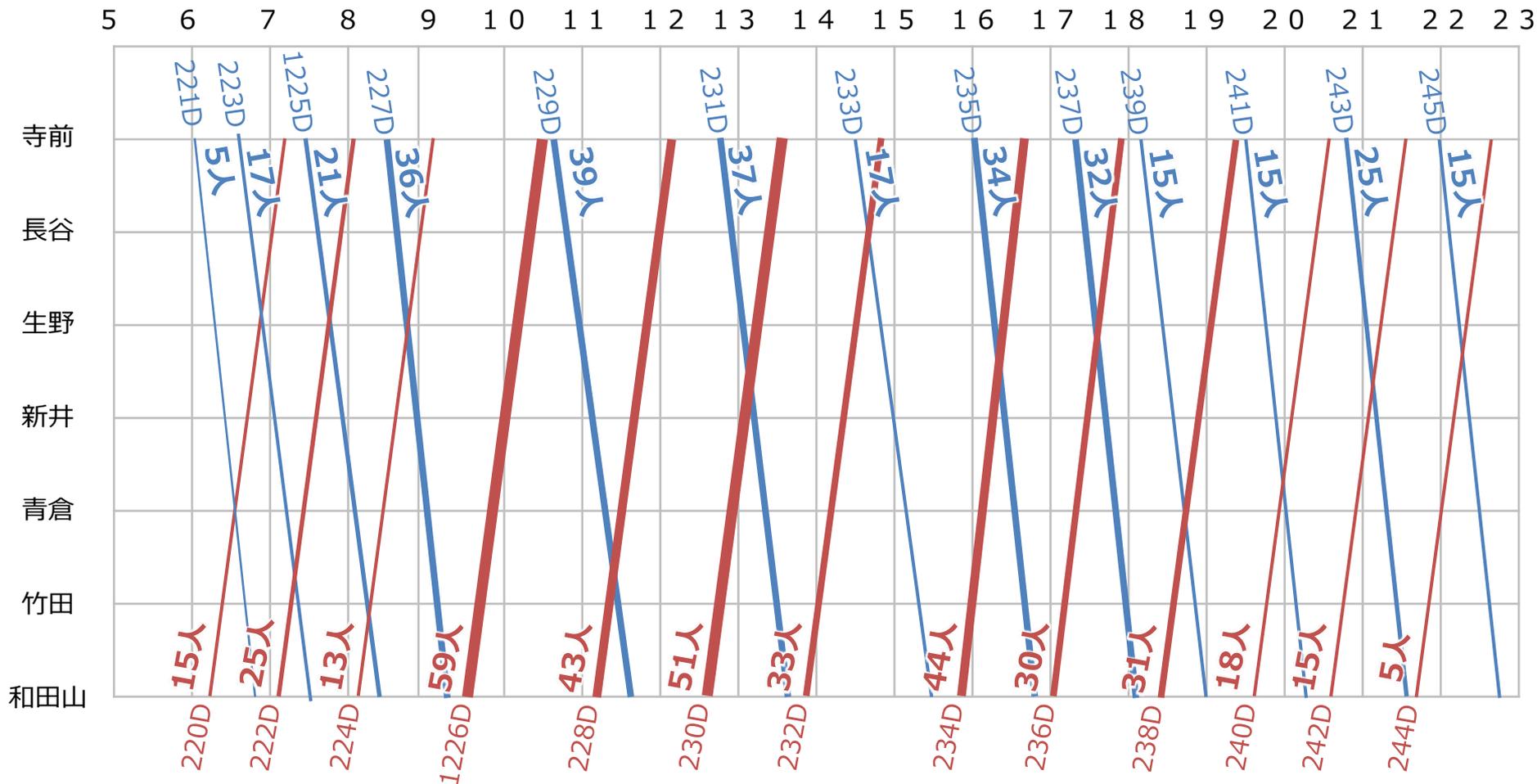
## 6. 時間帯別ご利用状況

【休日】2025/10/12（日）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

- ・下りは229D（寺前駅10:41発）の39人、上りは1226D（和田山駅9:29発）の59人が最大であり、上下ともにDTのご利用が最も多い
- ・それ以外列車では5人～51人程度のご利用状況



# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）のご利用状況

23

## 6. 時間帯別ご利用状況

【休日】2025/10/12（日）調査結果

【車両】40系 定員96人/両,座席定員65人/両  
41系 定員119人/両,座席定員50人/両

※寺前駅～和田山駅間における駅間断面輸送量（駅間乗車数）の最大値を記載

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(下り)

駅間\列車番号	221D (6:02発)	223D (6:38発)	1225D (7:26発)	227D (8:28発)	229D (10:41発)	231D (12:48発)	233D (14:35発)	235D (16:03発)	237D (17:16発)	239D (18:13発)	241D (19:25発)	243D (20:49発)	245D (21:59発)	合計
両数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
寺前～長谷	0	15	18	27	39	35	16	24	29	15	15	18	15	266
長谷～生野	1	15	18	27	32	34	17	23	28	15	14	17	15	256
生野～新井	0	16	18	29	29	34	14	27	32	12	12	15	11	249
新井～青倉	2	16	14	27	25	32	14	25	30	10	14	15	9	233
青倉～竹田	2	17	16	27	25	31	13	24	29	12	12	15	9	232
竹田～和田山	5	15	21	36	21	37	10	34	27	11	15	25	15	272

(人)

### ■ 駅間断面輸送量(上り)

駅間\列車番号	220D (6:13発)	222D (7:09発)	224D (8:11発)	1226D (9:29発)	228D (11:11発)	230D (12:38発)	232D (13:56発)	234D (15:49発)	236D (17:01発)	238D (18:27発)	240D (19:37発)	242D (20:37)	244D (21:47発)	合計
両数	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
和田山～竹田	15	25	12	49	33	31	30	30	26	31	18	13	2	315
竹田～青倉	1	17	9	50	36	39	29	32	30	20	13	15	5	296
青倉～新井	1	17	11	53	36	40	30	32	28	20	14	13	4	299
新井～生野	1	20	11	52	38	51	33	35	28	21	13	13	4	320
生野～長谷	1	22	13	58	43	44	30	44	30	17	14	14	4	334
長谷～寺前	2	23	13	59	43	45	31	44	28	17	14	15	4	338

6. 時間帯別ご利用状況

<ご利用が多い時間帯の傾向>

【平日】

上下ともに朝の通勤・通学時間帯の列車が最もご利用が多い

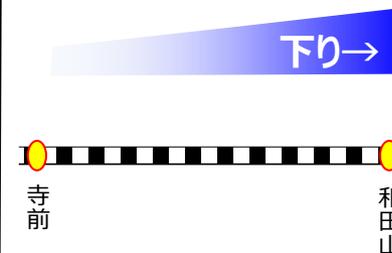
\* 最大駅間乗車数：下り 108人（竹田駅→和田山駅間）

上り 62人（新井駅→生野駅間）

（2025年10月調査の平日2日間平均）

（1日を通しての全体の傾向）

- ・下り…寺前駅→和田山駅に向けて利用者がわずかに増加
- ・上り…和田山駅→寺前駅に向けて利用者数がわずかに減少



【休日】

上下ともに日中のご利用が比較的多い

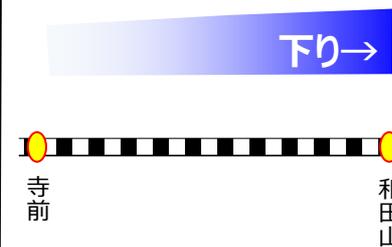
\* 最大駅間乗車数：下り 56人（寺前駅→長谷駅間）

上り 51人（長谷駅→寺前駅間）

（2025年10月調査の休日2日間平均）

（1日を通しての全体の傾向）

- ・下り…寺前駅→和田山駅の乗り越し利用が多い
- ・上り…和田山駅→寺前駅の乗り越し利用が多い



・播但線に並行して「国道312号」及び「播但連絡道路」が並行している。

## 播但連絡道路

- 1973年 砥堀R ~ 福崎北R 供用
- 1975年 福崎北R ~ 市川北R 供用
- 1981年 花田IC ~ 砥堀R 供用
- 1982年 市川北R ~ 神崎北R 供用
- 1985年 姫路JCT ~ 花田IC 供用
- 1992年 神崎北R ~ 生野北第2R 供用
- 2000年 生野北第2R ~ 和田山IC 供用
- 2000年 全通

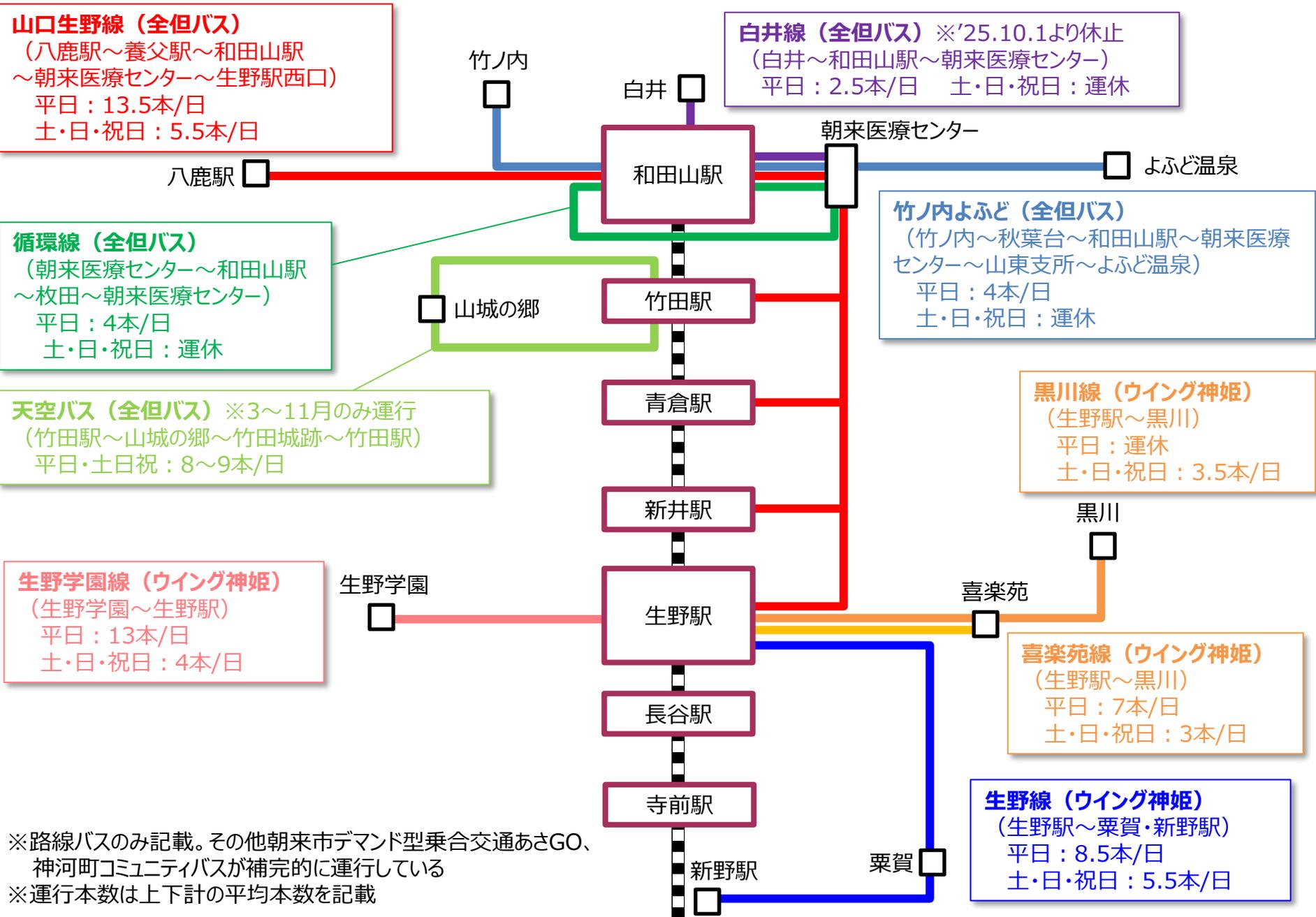
## 国道312号

## 北近畿豊岡自動車道

- 1977年 遠坂T有料道路開通
- 2005年 春日IC・JCT ~ 氷上IC 供用
- 2006年 氷上IC ~ 和田山JCT・IC 供用
- 2012年 和田山IC・JCT ~ 八鹿氷ノ山IC 供用
- 2017年 八鹿氷ノ山IC ~ 日高神鍋高原IC 供用
- 2020年 日高神鍋高原IC ~ 但馬空港IC 供用
- 2024年 豊岡出石IC ~ 但馬空港IC 供用

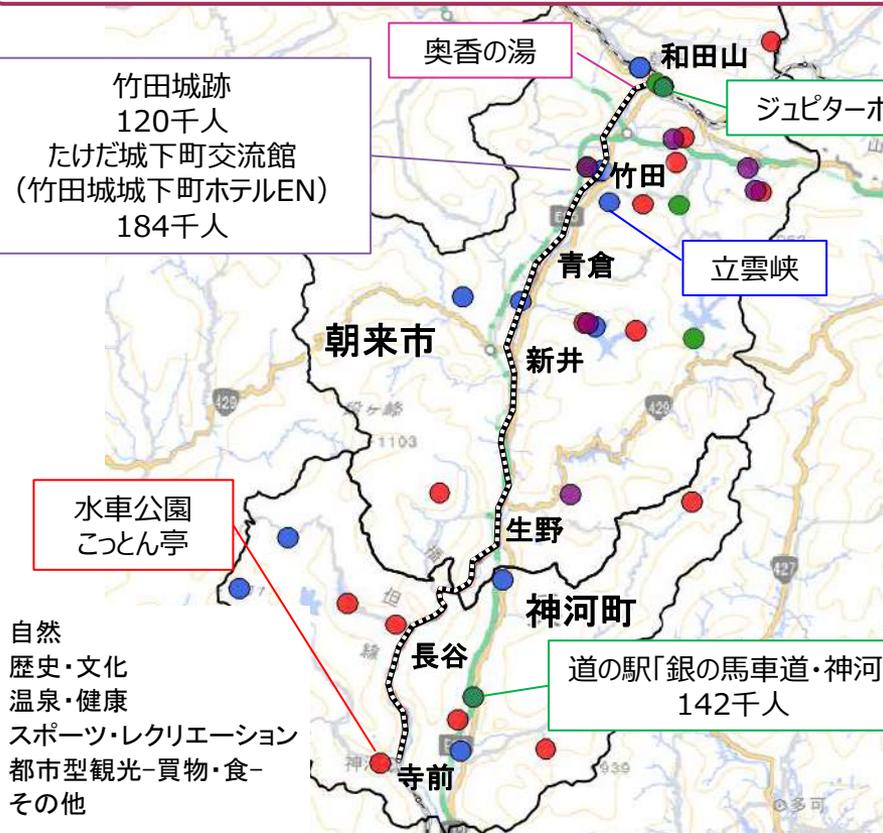


※高規格道路の「供用、全通年」は暫定2車を含む  
 ※事業区間は、各地方整備局HPより今後の開通見通しを整理  
 (事業中路線以上のみ)

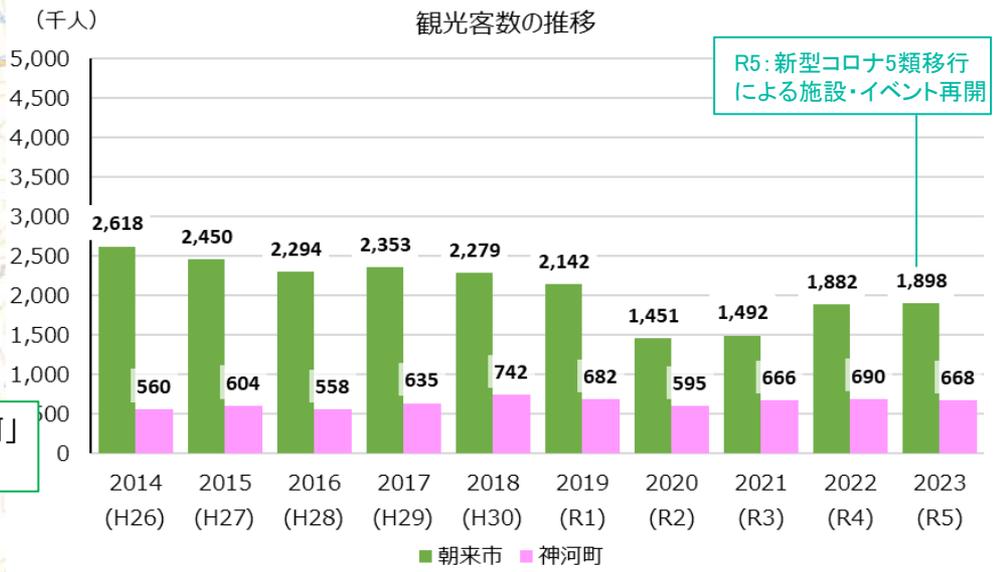


# ■ 播但線（寺前駅～和田山駅）沿線の主な観光地

- ・コロナ禍により減少した**観光入込客数**は徐々に増加しているが、**未だコロナ前の水準には戻っていない**
- ・宿泊客は少なく、**9割以上が日帰り客**である

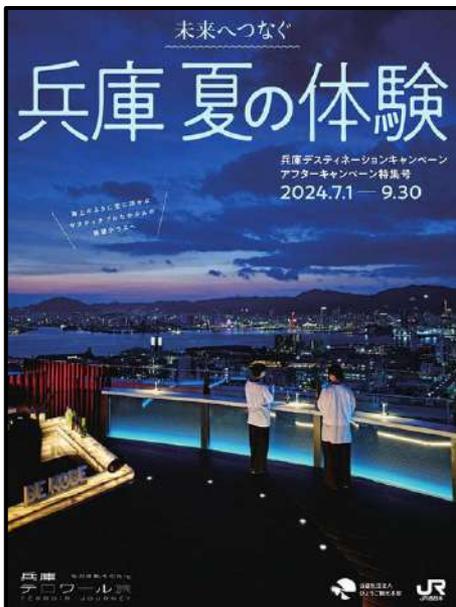


● 播但線沿線には歴史・文化施設の観光資源が存在している



自治体	観光入込客数 (R5)			目的別入込客数 (R5)						
	合計	うち日帰り客	うち宿泊客	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光-買物・食等-	その他	行祭事・イベント
朝来市	1,898	1,770 (93.3%)	128 (6.7%)	82	485	135	202	0	892	102
神河町	668	637 (95.4%)	31 (4.6%)	152	0	0	355	152	0	8

出典：国土地理院地図、令和5年度 兵庫県観光客動態調査報告書（兵庫県）、国土数値情報 観光資源



兵庫DCアフターキャンペーン



ひょうこと巡る 山陰線・播但線の旅



「ふるさとの光」発見プロジェクト



WESTERへの情報集約



銀の馬車道・サイクルトレイン



利用促進リーフレット

# ■ 播但線に関するこれまでの検討状況等

年月日	これまでの取組状況等	
'06～	<b>但馬地域鉄道利便性向上対策協議会</b> （豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、商工会、県民局、全但バス、JR等） …連携イベント多数・但馬地域における公共交通の利便増進に向けた人材育成・乗って守ろう！山陰本線「浜坂・香住・竹野駅ペイ」・車両基地見学 等 （構成団体実施事業：パーク&ライド整備及び管理、特急はまかせ利用助成、定期購入費助成、コミバス・デマンド交通運行、公共交通ワークショップ 等）	
'22.2.14～	<b>「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」</b>	
'22.4.11	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>ローカル線に関する課題認識と情報開示（2019年度輸送密度1,222人/日）</b></p> <p>・特性の違いや移動ニーズを踏まえ、地域のまちづくりに合わせた、今よりもご利用しやすい持続可能な地域交通体系を地域の皆様・自治体と共に創り上げていく = <b>公共交通のあり方議論が必要</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>JRローカル線維持・利用促進検討協議会 発足</b></p> <p>第1回（22.6.24）</p> </div> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>JR播但線維持・利用促進WT 発足</b></p> </div> </div>	
'22.7.25	<b>「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会の提言」</b>	
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>第2回（22.12.23）以降、現状説明（データとファクトの提示）とあり方議論を投げかけ</p> <p>第3回（23.2.1）</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>JRローカル線維持・利用促進協議会 発足</b></p> </div>	<div style="border: 1px solid purple; padding: 5px;"> <p>第1回(22.8.4)</p> <p>第2回(22.9.21)</p> <p>第3回(22.12.1)</p> <p>第4回(23.3.24)</p> </div>
'23.4.28	<b>地域公共交通活性化再生法 公布</b>	
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>第1回（23.7.18）</p> </div>	<div style="border: 1px solid purple; padding: 5px;"> <p><b>JR播但線利活用協議会(WT) 発足</b></p> <p>第1回(書面開催 23.6.28)</p> </div>
<b>兵庫DC期間（'23.7～23.9）</b>		
23.10.1	<b>地域公共交通活性化再生法 施行</b>	
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>第2回（未開催）</p> <p>第1回（24.7.19）</p> <p>第1回（25.7.28）</p> </div>	<div style="border: 1px solid purple; padding: 5px;"> <p>第2回(24.1.18)</p> <p>第1回(24.6.20)</p> <p>第2回(25.1.31)</p> <p>第1回(25.6.20)</p> </div>
'25.10.10～	<b>「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会（第2期）」</b>	

<ご説明内容>

- 1 播但線（寺前駅～和田山駅）沿線エリアの2045年の**将来人口**は、2020年度から**33%減**

⇒スライドP31

- 2 現在、播但線のご利用は、**普通・通勤・通学**のうち、**普通利用**が**73.1%と最も高い**。次いで通学定期が21.3%。一方で生徒数は将来減少にある

⇒スライドP31

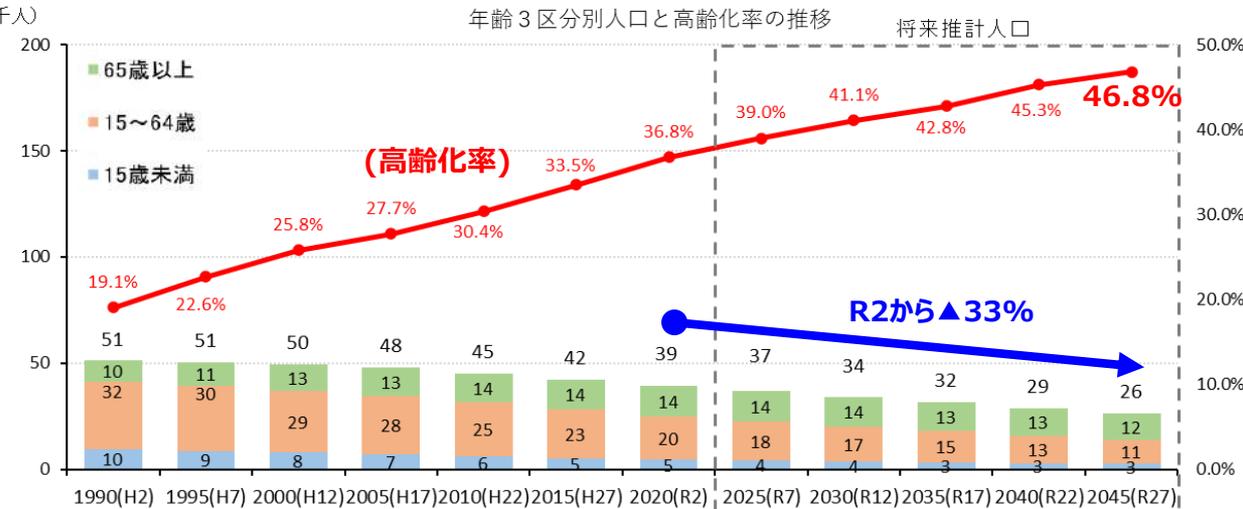
- 3 播但線沿線居住者の通勤・通学移動特性

- ・**朝来市**では養父市・豊岡市・福知山市等の**近隣市町間の流動が多い**
- ・**神河町**では**姫路市への流動が多く**、次いで市川町・福崎町等の**近隣市町間の流動が多い**

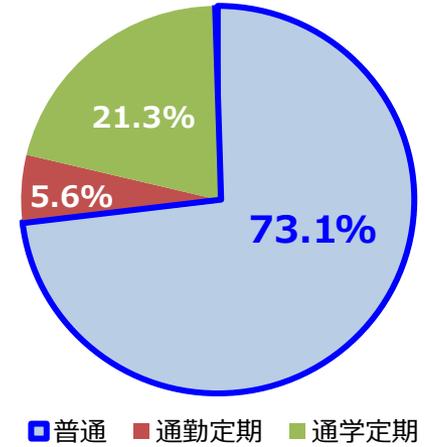
⇒スライドP32～34

播但線沿線エリア(朝来市・神河町)の2045年の**将来人口は2020年度から33%減**  
 播但線(寺前駅～和田山駅)のご利用特性は、**普通利用が73.1%と最も高く、通学定期は21.3%**

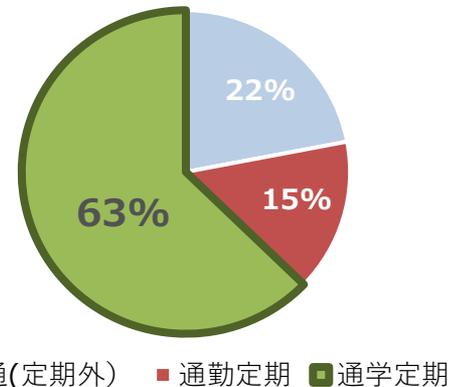
## ■ 朝来市・神河町の年代人口推移と予測 (市町合計)



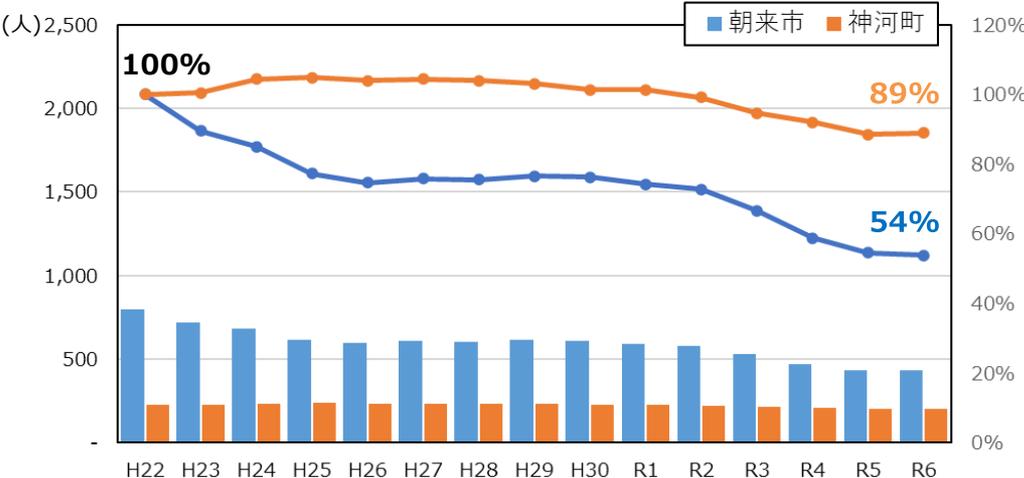
## ■ 播但線(寺前駅～和田山駅)の利用特性 (2024年度)



## 【参考】姫新線(播磨新宮駅～上月駅)の利用特性 (2019年度)



## ■ 朝来市・神河町の高等学校(全日制・定時制)学生数の推移



出典：国勢調査、将来推計人口は国立社会保障・人口問題研究所予測（R2基準）  
 学校基本調査（兵庫県）、JRデータ

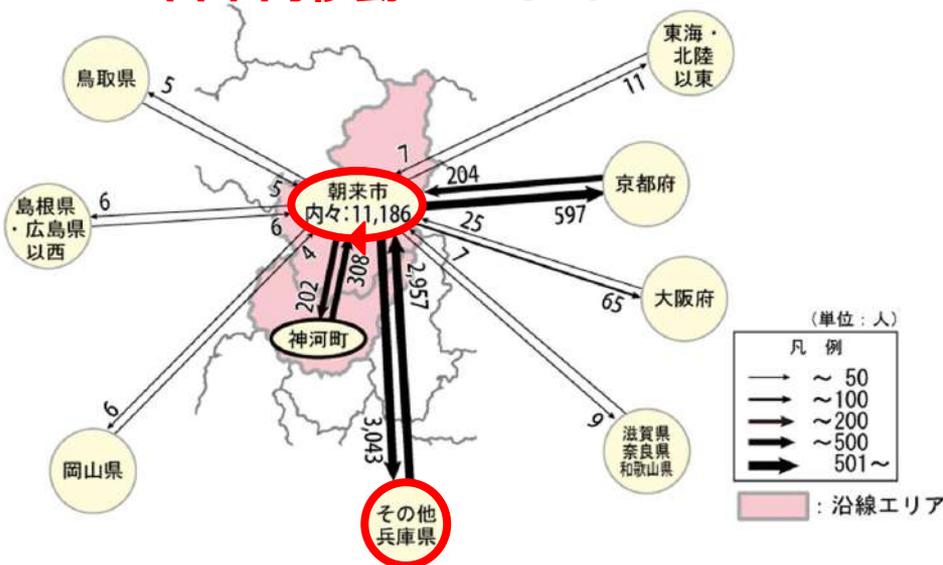
- ・朝来市、神河町ともに「**自市内移動**」が最も多く、全体の移動のうち朝来市は**72.9%**、神河町は**46.7%**
- ・次いで朝来市は播但線沿線市町外の「**その他兵庫県**」へ**19.8%**という移動が多い。一方で神河町についても「**その他兵庫県**」への移動が**45.2%**と多く、自町内移動と同程度の通勤・通学者が存在する

## ■ 常住地による通勤・通学流動 (広域な流動)

### 朝来市

朝来市内に常住する就業者・通学者  
計15,347人

**自市内移動 72.9%**

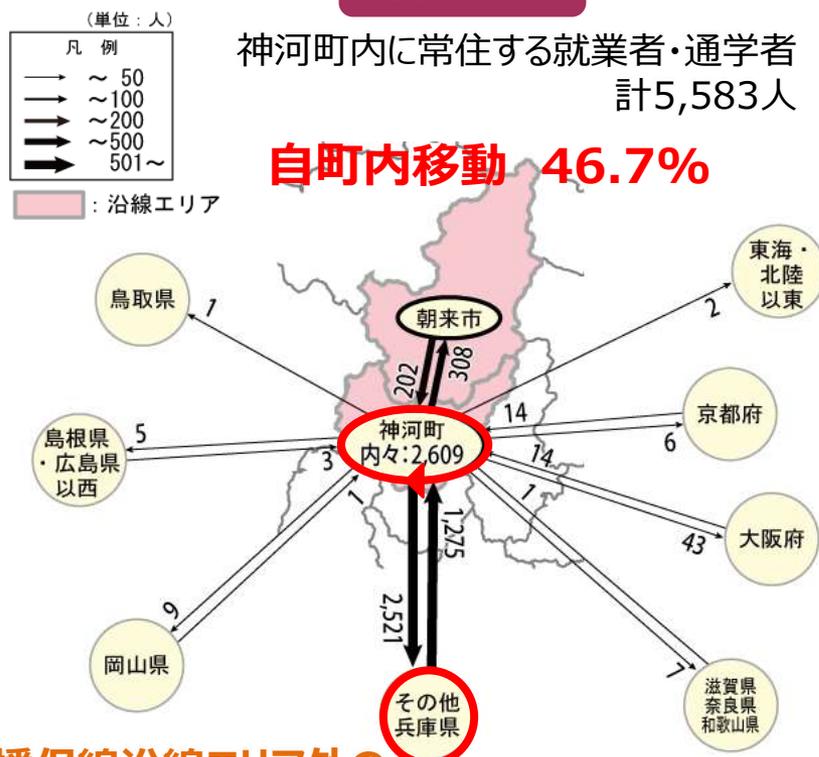


播但線沿線エリア外の  
「**その他兵庫県**」へ  
**19.8%**

### 神河町

神河町内に常住する就業者・通学者  
計5,583人

**自町内移動 46.7%**



播但線沿線エリア外の  
「**その他兵庫県**」へ  
**45.2%**

## ■ 常住地による通勤・通学流動 (市町村間)

※通勤・通学者が50人以上のみ表示

### 朝来市

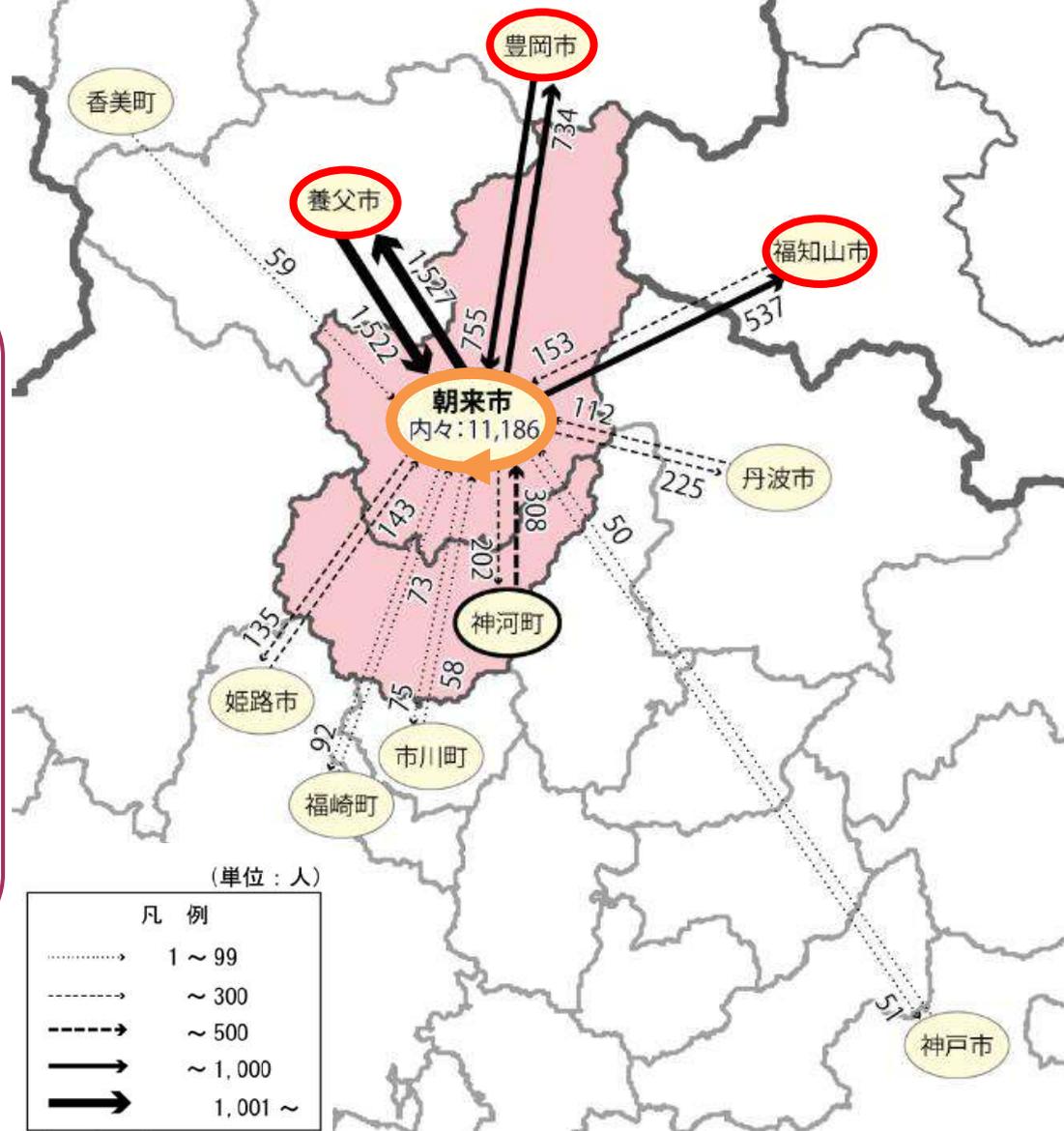
朝来市内に常住する就業者・通学者  
計15,347人  
朝来市内で就業・通学する者  
計14,926人

#### ① 朝来市からの流動

- ・近隣の「養父市 (9.9%)」への流動が最も多い。次いで「豊岡市 (4.8%)」、「福知山市 (3.5%)」への流動が多い
- ・上記流動の8割以上が「通勤者」である

#### ② 朝来市への流動

- ・同様に近隣の「養父市 (10.2%)」からの流動が最も多い。次いで「豊岡市 (5.1%)」、「福知山市 (1.0%)」からの流動が多い
- ・上記流動の9割以上が「通勤者」である



(単位: 人)

凡例

..... 1 ~ 99  
 - - - - ~ 300  
 - - - - ~ 500  
 ———— ~ 1,000  
 ———— 1,001 ~

■ : 沿線エリア

※通勤・通学者計が50人以上の市町村のみ表示

## ■ 常住地による通勤・通学流動 (市町村間) ※通勤・通学者が50人以上のみ表示 神河町

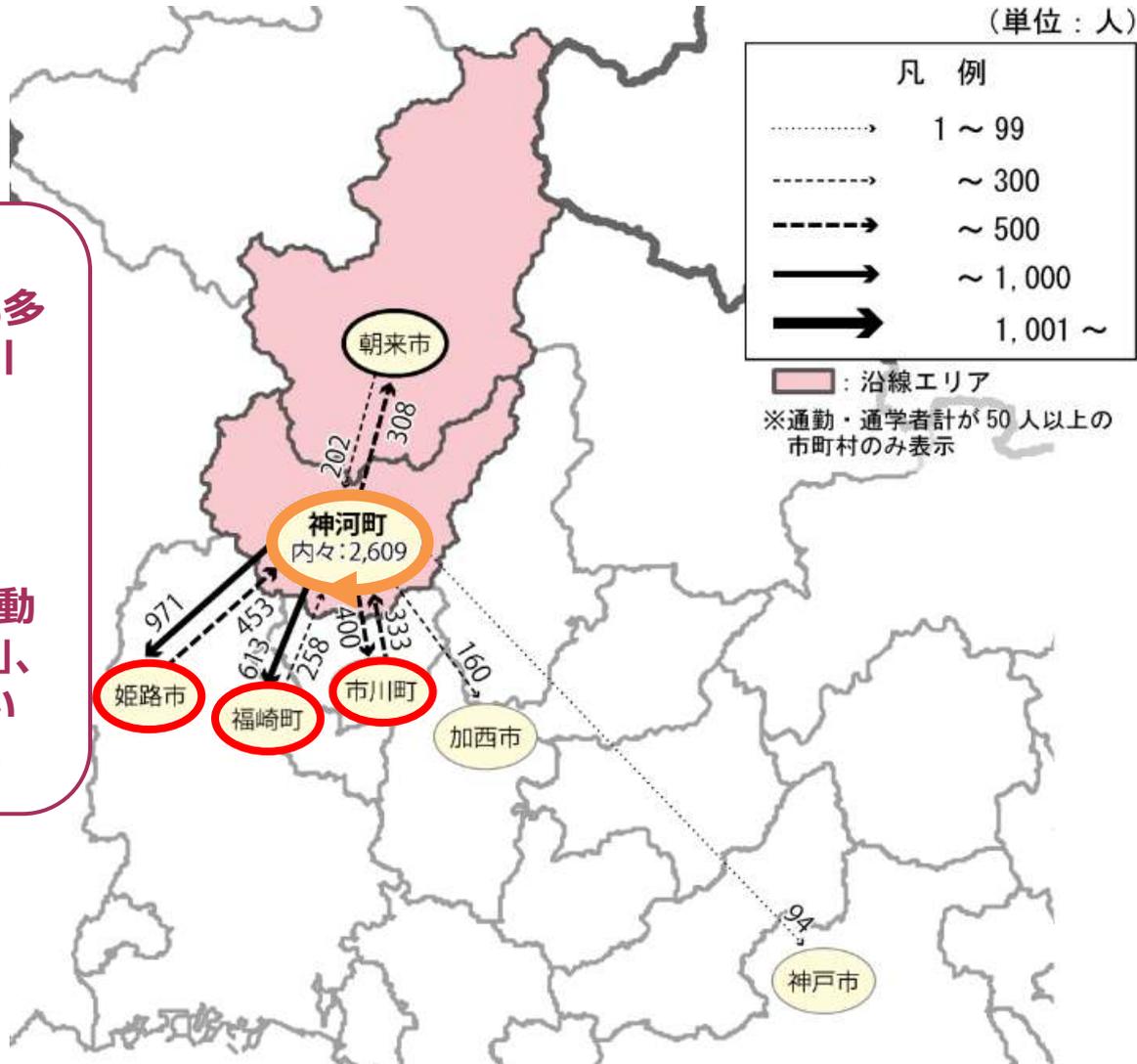
神河町内に常住する就業者・通学者  
計5,583人  
神河町内で就業・通学する者  
計4,191人

### ① 神河町からの流動

- ・「姫路市 (17.4%)」への流動が最も多い。次いで「福崎町 (11.0%)」、「市川町 (7.2%)」への流動が多い
- ・上記流動の8割以上が「通勤者」である

### ② 神河町への流動

- ・同様に「姫路市 (10.8%)」からの流動が最も多い。次いで「市川町 (7.9%)」、「福崎町 (6.2%)」からの流動が多い
- ・上記流動の8割以上が「通勤者」である



# ご説明資料

播但線（寺前駅～和田山駅）  
ご利用者インタビュー調査結果について

2026年1月14日

西日本旅客鉄道株式会社

# 目次

<b>0. 調査概要</b>	.....	P2
<b>1. サマリー</b>	.....	P3
<b>2. 回答者の属性</b>	.....	P4
① 播但線ご利用者の利用目的	.....	P4
② 播但線ご利用者の年代	.....	P5
③ 播但線ご利用者の職業	.....	P6
④ 播但線ご利用者の居住地（都道府県単位）	.....	P8
⑤ 播但線ご利用者の居住地（兵庫県内_市町村単位）	.....	P10
<b>3. 乗降駅と2次交通手段</b>	.....	P12
① 本日の乗車駅	.....	P12
② 本日の降車駅	.....	P13
③ ご自宅から乗車駅までの交通手段	.....	P14
④ 降車駅から目的地までの交通手段	.....	P16
<b>4. 目的地</b>	.....	P18
① 目的地（大項目別）	.....	P18
② 目的地（都道府県別）	.....	P20
③ 目的地（兵庫県内_市町別・詳細）	.....	P22
④ 帰りの経路	.....	P24
<b>5. ご利用頻度・理由</b>	.....	P25
① 播但線のご利用頻度	.....	P25
② 播但線のご利用理由	.....	P27

## ■ 調査日・インタビュー調査獲得数

調査日		乗車人員 (上下計)	インタビュー獲得数	獲得率
平日	2025/10/9 (木)	823人	321人	39.0%
	2025/10/10 (金)	1,024人	308人	30.1%
休日	2025/10/11 (土)	903人	258人	28.6%
	2025/10/12 (日)	856人	198人	23.1%
合計		3,606人	1,085人	30.1%

## ■ インタビュー内容

- ① 本日の利用目的
- ② 本日の乗車駅・降車駅
- ③ 乗車駅までの移動手段
- ④ 降車駅から目的地までの移動手段
- ⑤ 本日の目的地 (目的地名称、所在地)
- ⑥ ご職業
- ⑦ 播但線の利用頻度
- ⑧ 播但線のご利用理由
- ⑨ お住まいの郵便番号
- ⑩ 帰り (行き) の経路 (同じ/違う)
- ⑪ 性別・年代



▲ 調査時の様子



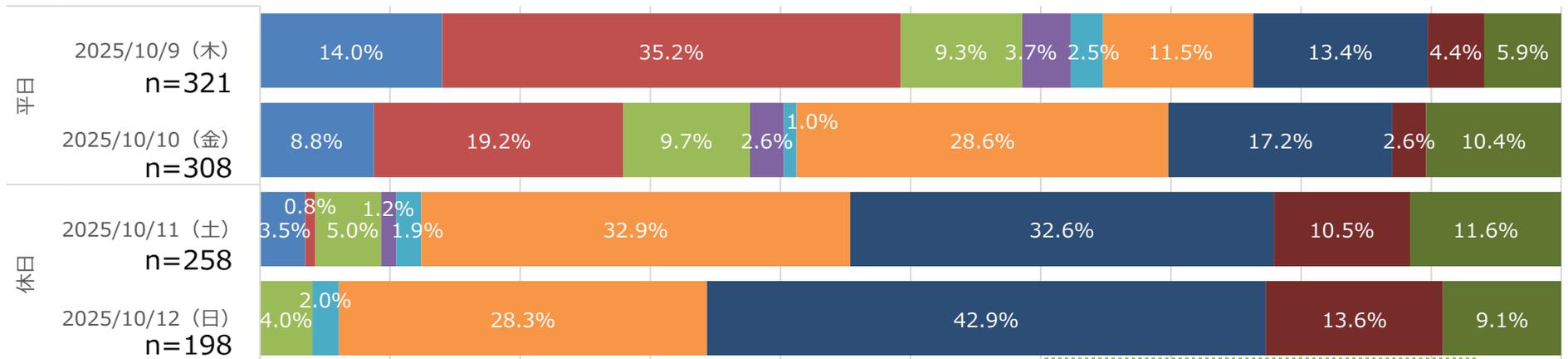
▲ 配布ノベルティ

項目	概要	記載ページ
播但線ご利用者の利用目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日は「通学」が35%、次いで「通勤」が14%と通勤・通学利用が約半数を占める。(10/9(木)結果を参照)</li> <li>休日は「観光」が33~43%、「私用」が28~33%と特に多い。次いで「鉄道乗車自体が目的」という方が11~14%と多い傾向にあった。</li> </ul>	P4
播但線ご利用者の年代	<p>【平日のご利用】(10/9(木)結果を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体では「22歳以下」が45%と最も多く、次いで「23~64歳」が39%と多い。</li> <li>通学利用以外の目的では「23~64歳」の利用者が主。</li> </ul> <p>【休日のご利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体では「23~64歳」の利用者が67~70%と最も多い。</li> <li>「22歳以下」は18~19%の利用であり、平日比較しご利用が少ない。</li> </ul>	P5
播但線ご利用者の居住地	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には「兵庫県内」に居住されている方のご利用が60%以上を占め最も多い。</li> <li>「観光」や「鉄道乗車自体が目的」は県外からのご利用が主であり、近畿圏以外の地域からも広域にご利用されている。</li> </ul>	P8~11
主な乗車駅・降車駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>播但線内では「和田山駅」、「生野駅」、「姫路駅」からの乗車が多い。</li> <li>一方で播但線外の「その他」からの乗車が多数あり、豊岡駅、福知山駅等のJR山陰線・福知山線駅等からの乗車が多い。</li> </ul>	P12~13
主な2次交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には「徒歩」が半数を占め最も多い。次いで「車(送迎)」が20%弱と多い。</li> </ul>	P14~17
主な目的地	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日/休日ともに「兵庫県内」を目的地とする回答が6割以上を占め最も多い。</li> <li>このうち兵庫県内のなかでは「朝来市」を目的地とする回答が最も多く、次いで「姫路市」、「豊岡市」の回答が多かった。</li> </ul>	P18~23
播但線のご利用頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日は通学利用者が多いことから、全体で見ると「週5~7日」が42%と最も多い。(10/9(木)の結果を参照)</li> <li>一方で通勤/通学以外では、「初めて乗車」や「それ以外」が大半を占めている。</li> <li>休日は私用や観光目的が多いことから、「それ以外」、「初めて乗車」が8割を占める。</li> </ul>	P25~26
播但線のご利用理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日/休日ともに、全体で見ると「他に選択できる移動手段がない」が約半数を占め最も多い。</li> </ul>	P27~28

## 2. 回答者の属性

### ① 播但線ご利用者の利用目的

- ・平日（10/9（木）結果を参照）は「通学」が35.2%、次いで「通勤」が14.0%と通勤・通学利用が約半数であった。
- ・休日は「観光」が32.6~42.9%、「私用」が28.3~32.9%と特に多い。次いで「鉄道乗車自体が目的」という方が10.5~13.6%と多い傾向にあった。



その他の主な回答：帰省、冠婚葬祭、試験等

調査日\利用目的		①通勤	②通学	③仕事上での移動	④通院	⑤買い物	⑥私用	⑦観光	⑧鉄道乗車自体が目的	⑨その他	合計
平日	2025/10/9 (木)	45	113	30	12	8	37	43	14	19	321
		14.0%	35.2%	9.3%	3.7%	2.5%	11.5%	13.4%	4.4%	5.9%	100%
平日	2025/10/10 (金)	27	59	30	8	3	88	53	8	32	308
		8.8%	19.2%	9.7%	2.6%	1.0%	28.6%	17.2%	2.6%	10.4%	100%
休日	2025/10/11 (土)	9	2	13	3	5	85	84	27	30	258
		3.5%	0.8%	5.0%	1.2%	1.9%	32.9%	32.6%	10.5%	11.6%	100%
休日	2025/10/12 (日)	0	0	8	0	4	56	85	27	18	198
		0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	2.0%	28.3%	42.9%	13.6%	9.1%	100%

## ② 播但線ご利用者の年代（利用目的別）

### 【平日のご利用】

- ・全体では「22歳以下」が35.7～45.2%と最も多く、次いで「23～64歳」が39.3～46.4%と多い。
- ・利用目的別では、通学利用以外の目的では「23～64歳」の利用者が主であり、「22歳以下」は1.1～35.7%程度のご利用となっている。（10/9（木）結果を参照）

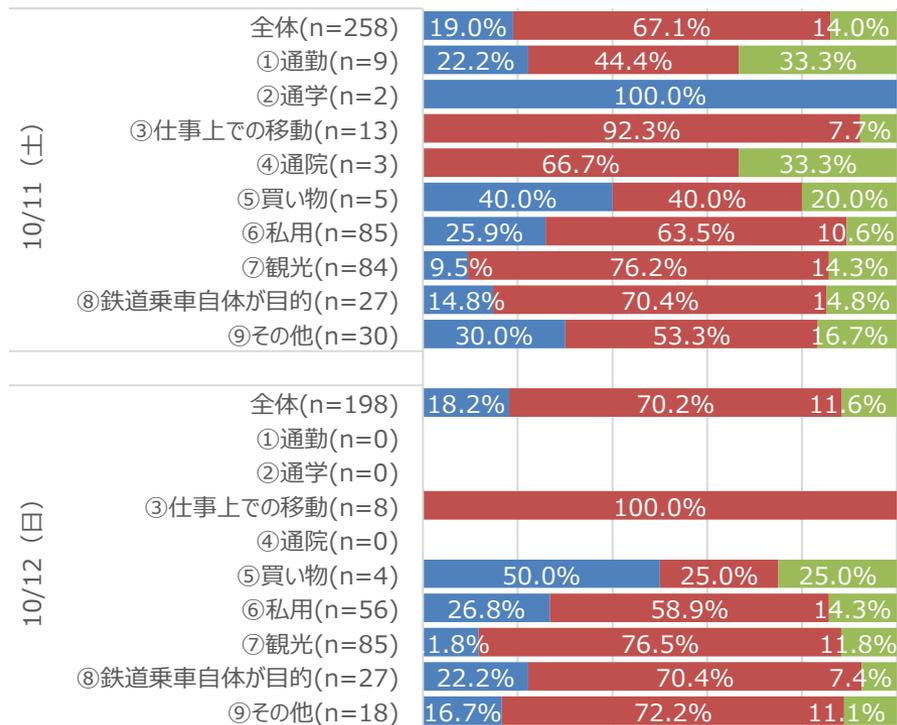
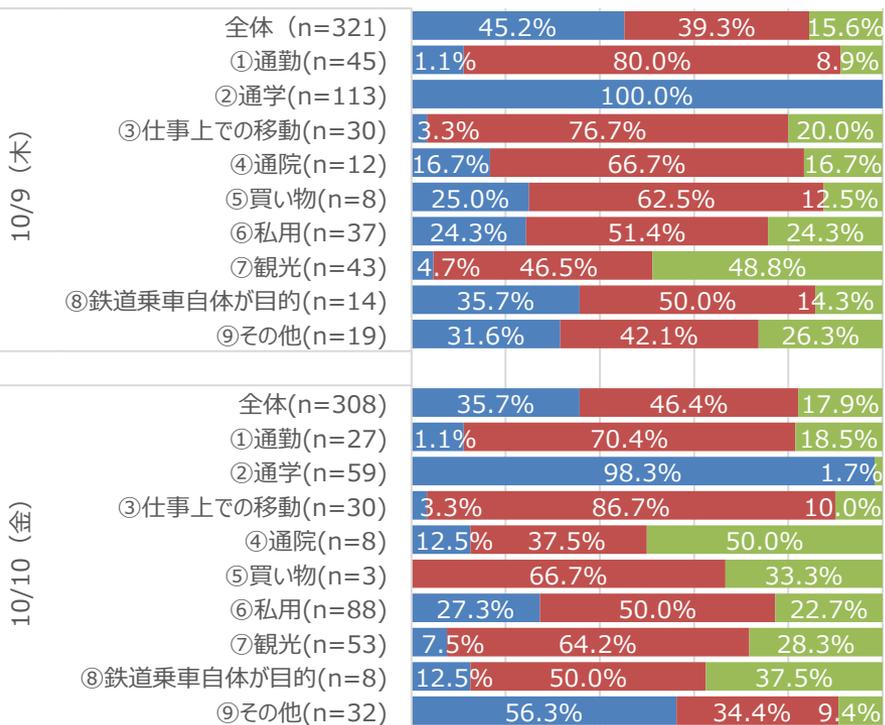
### 【休日のご利用】

- ・全体では「23～64歳」の利用者が67.1～70.2%と最も多い。
- ・「22歳以下」は18.2～19.0%の利用であり、平日比較しご利用が少ない。

### 【平日】



### 【休日】



## 2. 回答者の属性

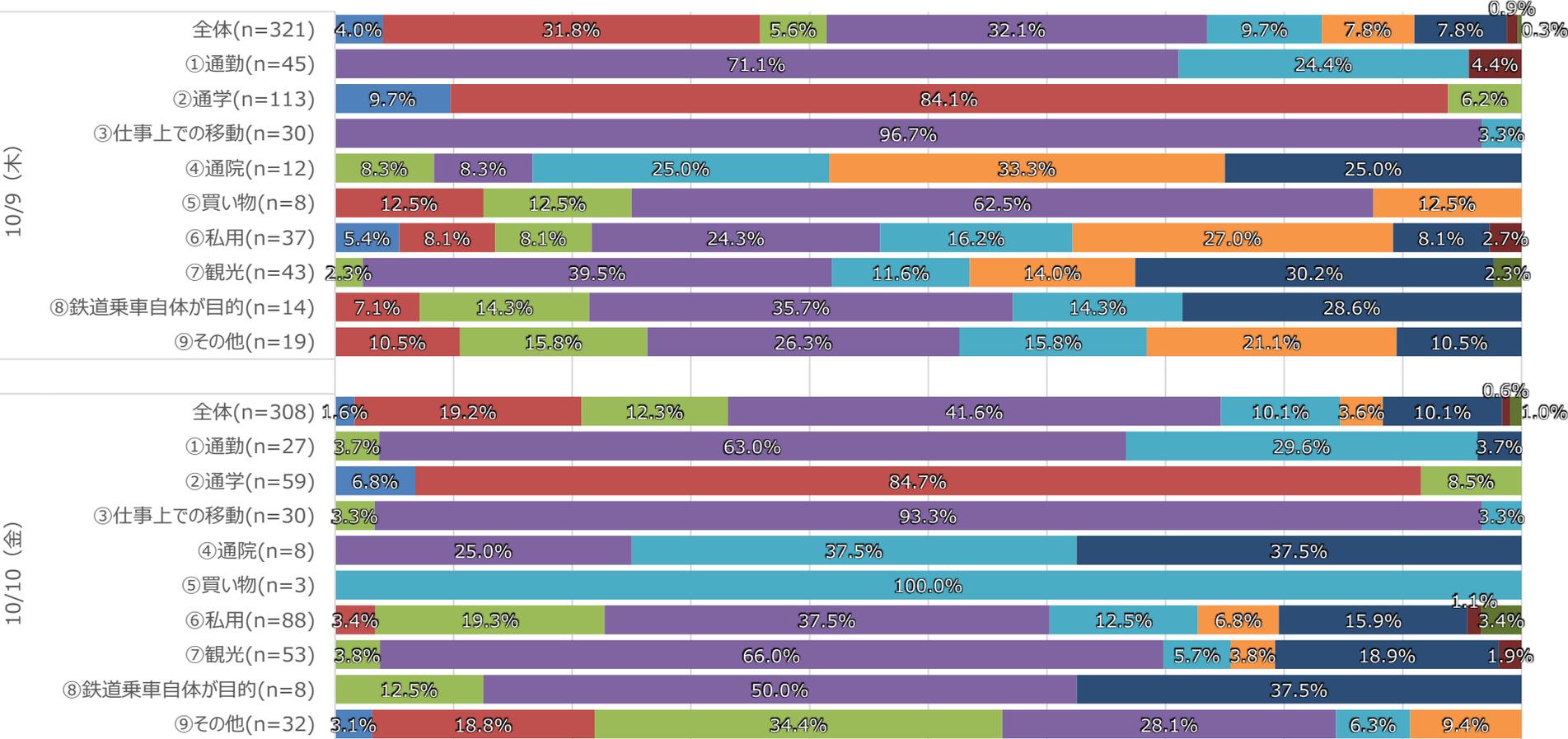
### ③ 播但線ご利用者の職業（利用目的別）

・平日（10/9（木）結果を参照）は全体で見ると「会社員・公務員等」が32.1%と最も多く、次いで「高校生」が31.8%と多い。

#### 【平日】

■ 小・中学生 ■ 高校生 ■ 大学生・専門学校生 ■ 会社員・公務員等 ■ パート・アルバイト・派遣社員 ■ 主夫・主婦 ■ 定年退職・無職 ■ その他 ■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## 2. 回答者の属性

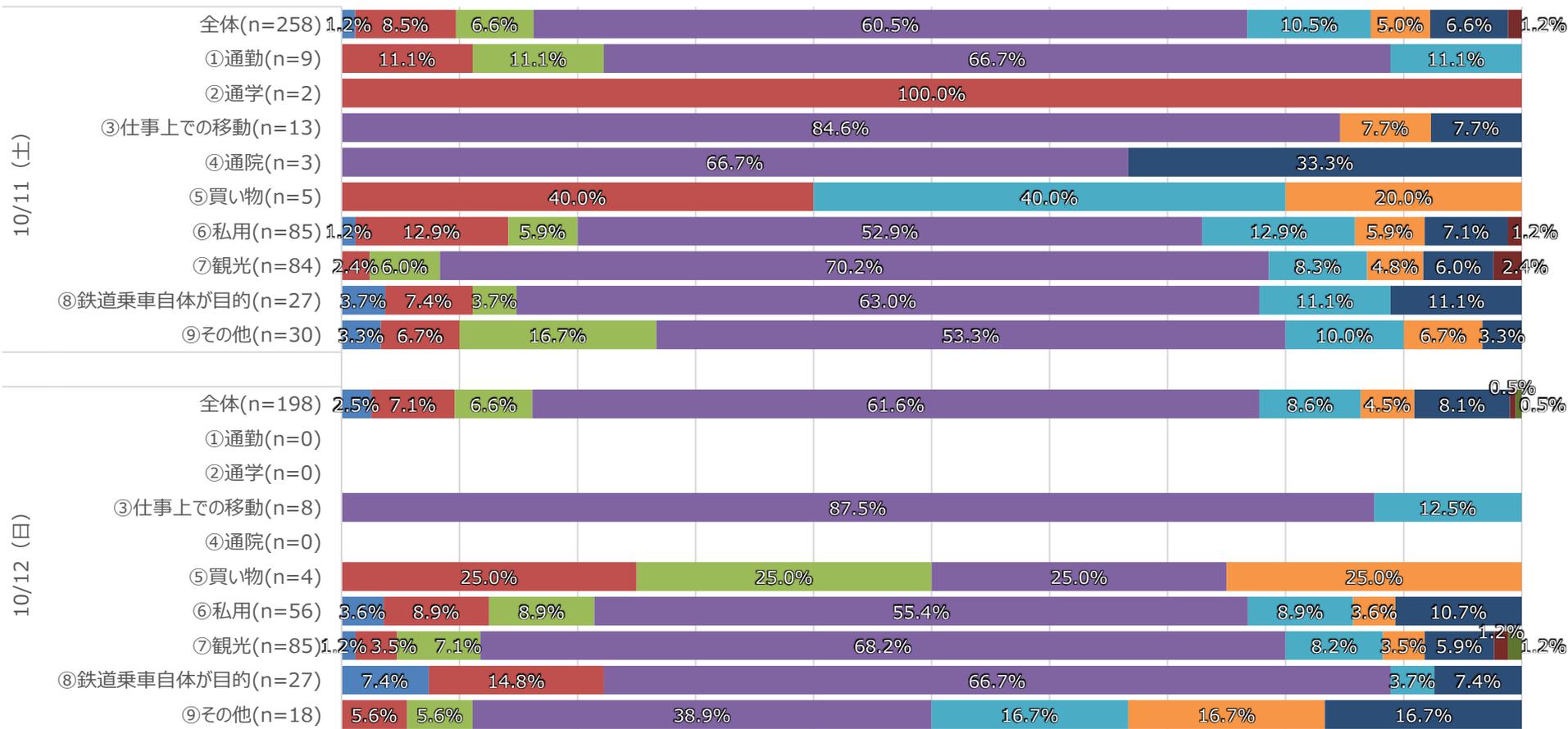
### ③ 播但線ご利用者の職業（利用目的別）

- ・休日とは全体で見ると、「会社員・公務員等」が60%以上を占め最も多い。
- ・小中学生～大学生のご利用はは約16%程度であり、平日と比較するとご利用が少ない。

#### 【休日】

■ 小・中学生 ■ 高校生 ■ 大学生・専門学校生 ■ 会社員・公務員等 ■ パート・アルバイト・派遣社員 ■ 主夫・主婦 ■ 定年退職・無職 ■ その他 ■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## ④ 播但線ご利用者の居住地（都道府県単位）

- 平日は全体的には「兵庫県内」に居住されている方のご利用が60%以上を占め最も多い。
- 「観光」や「鉄道乗車自体が目的」は県外からのご利用が主であり、近畿圏以外の地域からも広域にご利用されている。

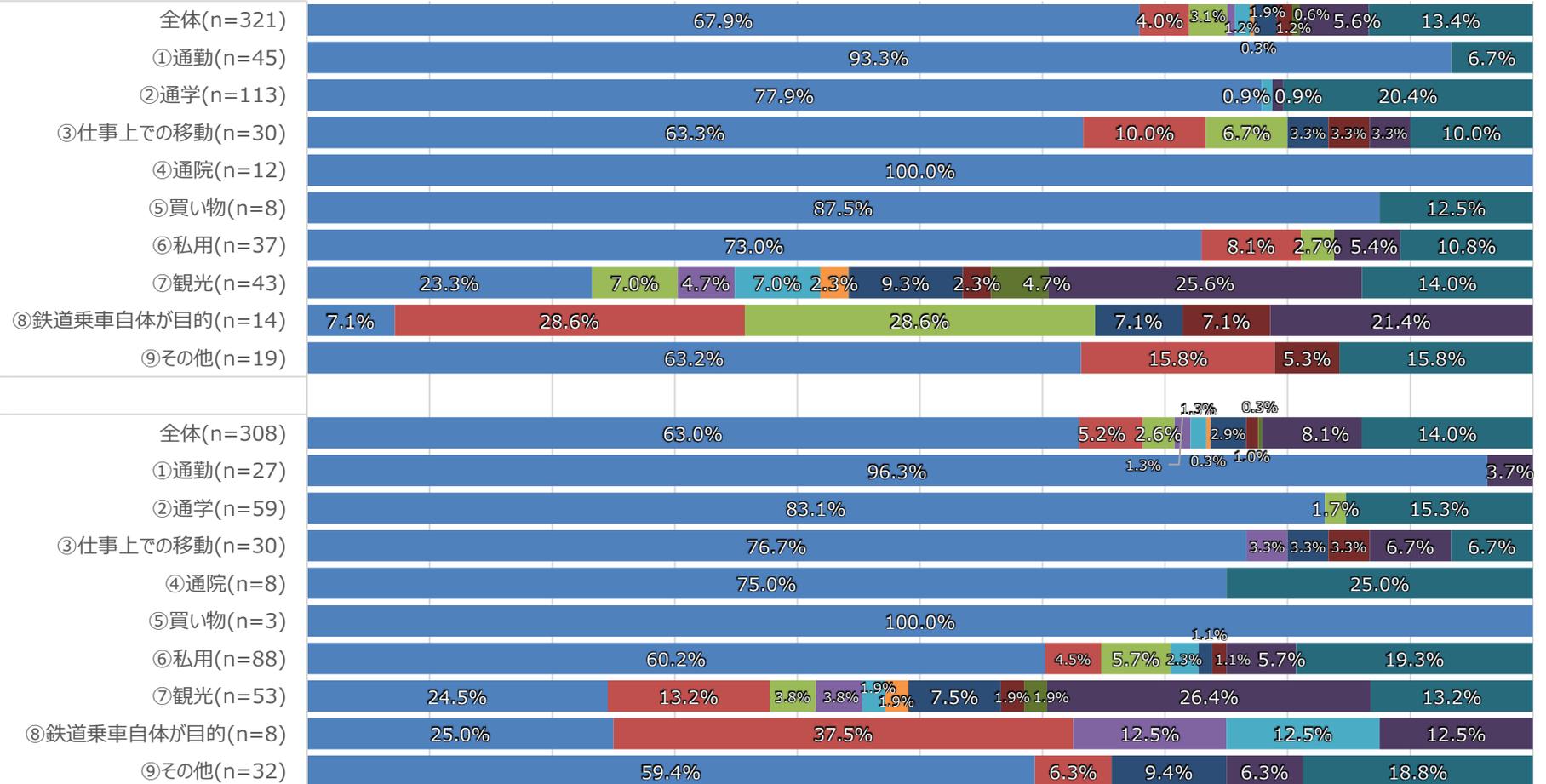
【平日】

■兵庫県 ■大阪府 ■京都府 ■滋賀県 ■奈良県 ■広島県 ■東京都 ■神奈川県 ■愛知県 ■その他 ■不明・無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

10/9 (木)

10/10 (金)



## 2. 回答者の属性

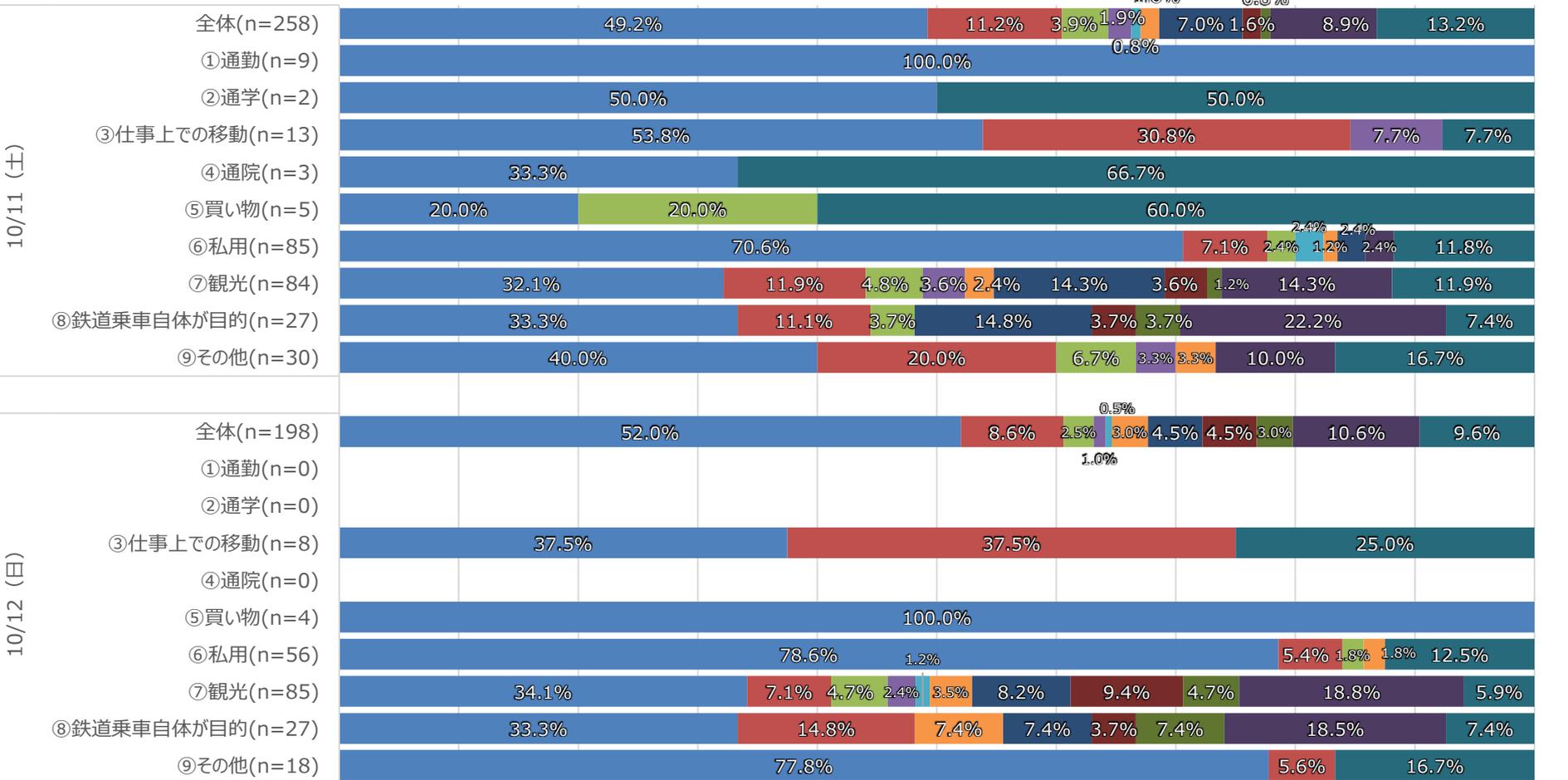
### ④ 播但線ご利用者の居住地（都道府県単位）

- ・休日も全体で見ると、「兵庫県内」に居住されている方のご利用は約50%程度と平日同様に最も多い。
- ・一方で、各目的別ではサンプル数が少ないものの、平日と比べると県外からのご利用が増える傾向にあった。
- ・「観光」や「鉄道乗車自体が目的」は県外からのご利用が主であり、近畿圏以外の地域からも広域にご利用されている。

【休日】

■兵庫県 ■大阪府 ■京都府 ■滋賀県 ■奈良県 ■広島県 ■東京都 ■神奈川県 ■愛知県 ■その他 ■不明・無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%





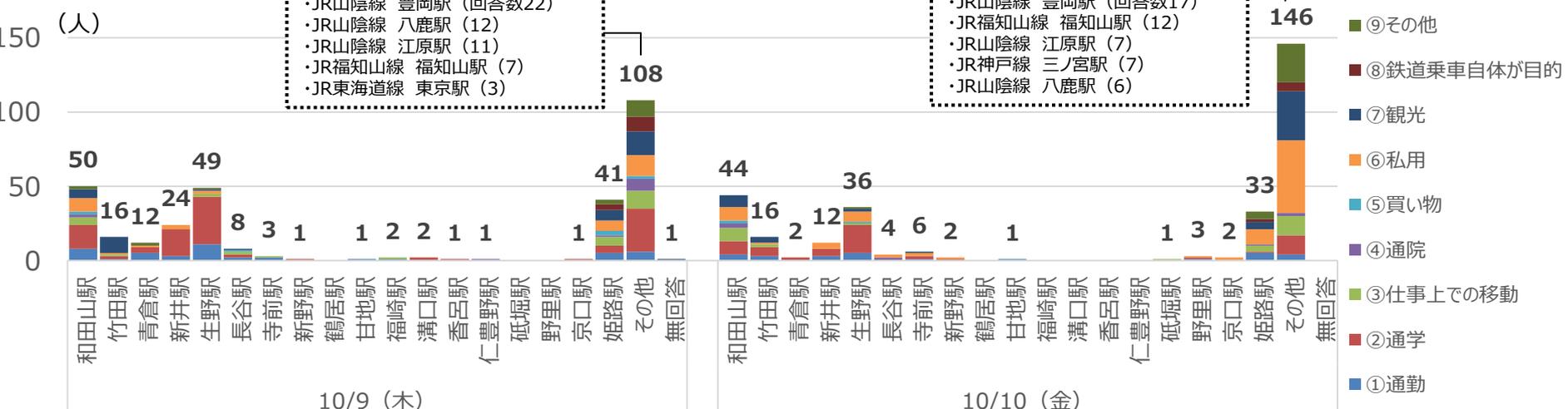


# 3. 乗降駅と2次交通手段

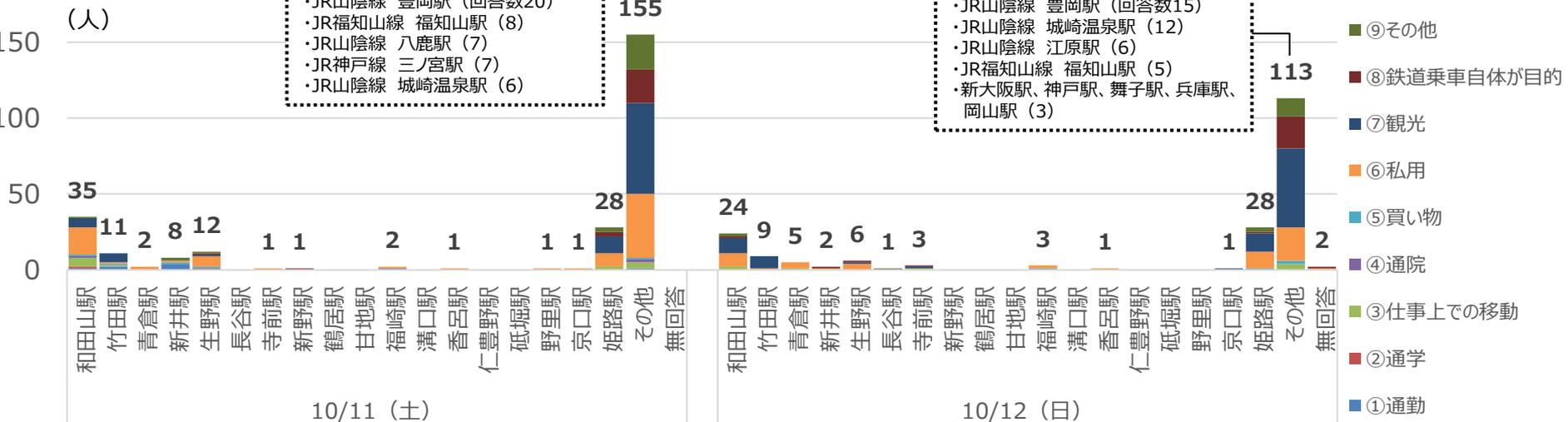
## ①本日の乗車駅

- ・播但線内では「和田山駅」、「生野駅」、「姫路駅」からの乗車が多い。
- ・一方で播但線外の「その他」からの乗車が多数あり、豊岡駅、福知山駅等のJR山陰線・福知山線駅等からの乗車が多い。

### 【平日】



### 【休日】

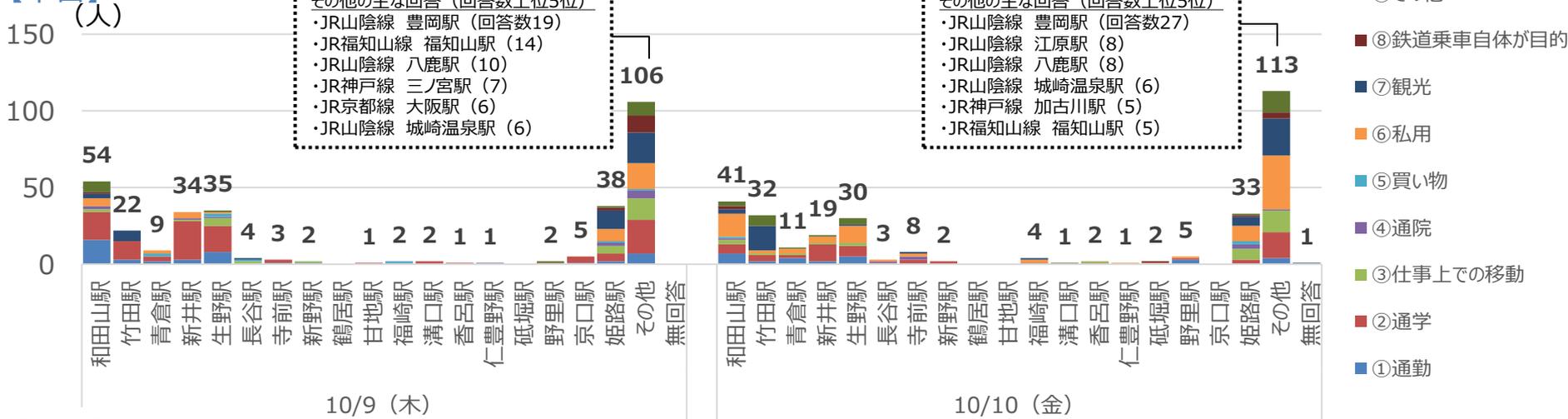


# 3. 乗降駅と2次交通手段

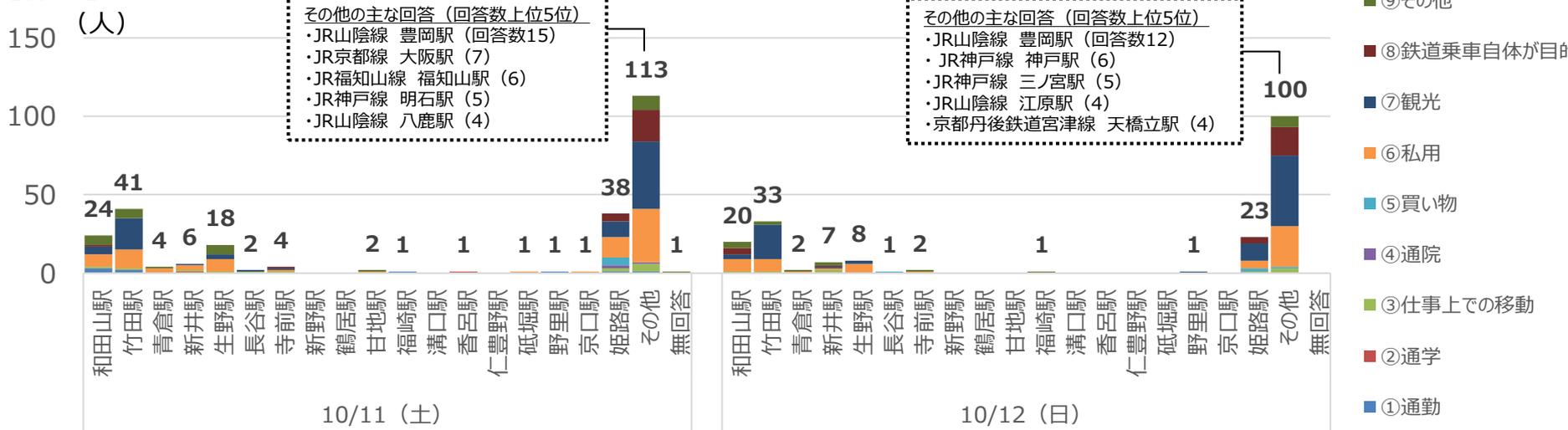
## ②本日の降車駅

- ・播但線内では平日は「和田山駅」、「姫路駅」に加え、「竹田駅」、「新井駅」、「生野駅」等での降車が多い。
- ・一方で播但線外の「その他」での降車が多数あり、JR山陰線・福知山線駅での降車に加え、JR東海道本線駅等までご乗車されている利用者が一定数存在した。

【平日】



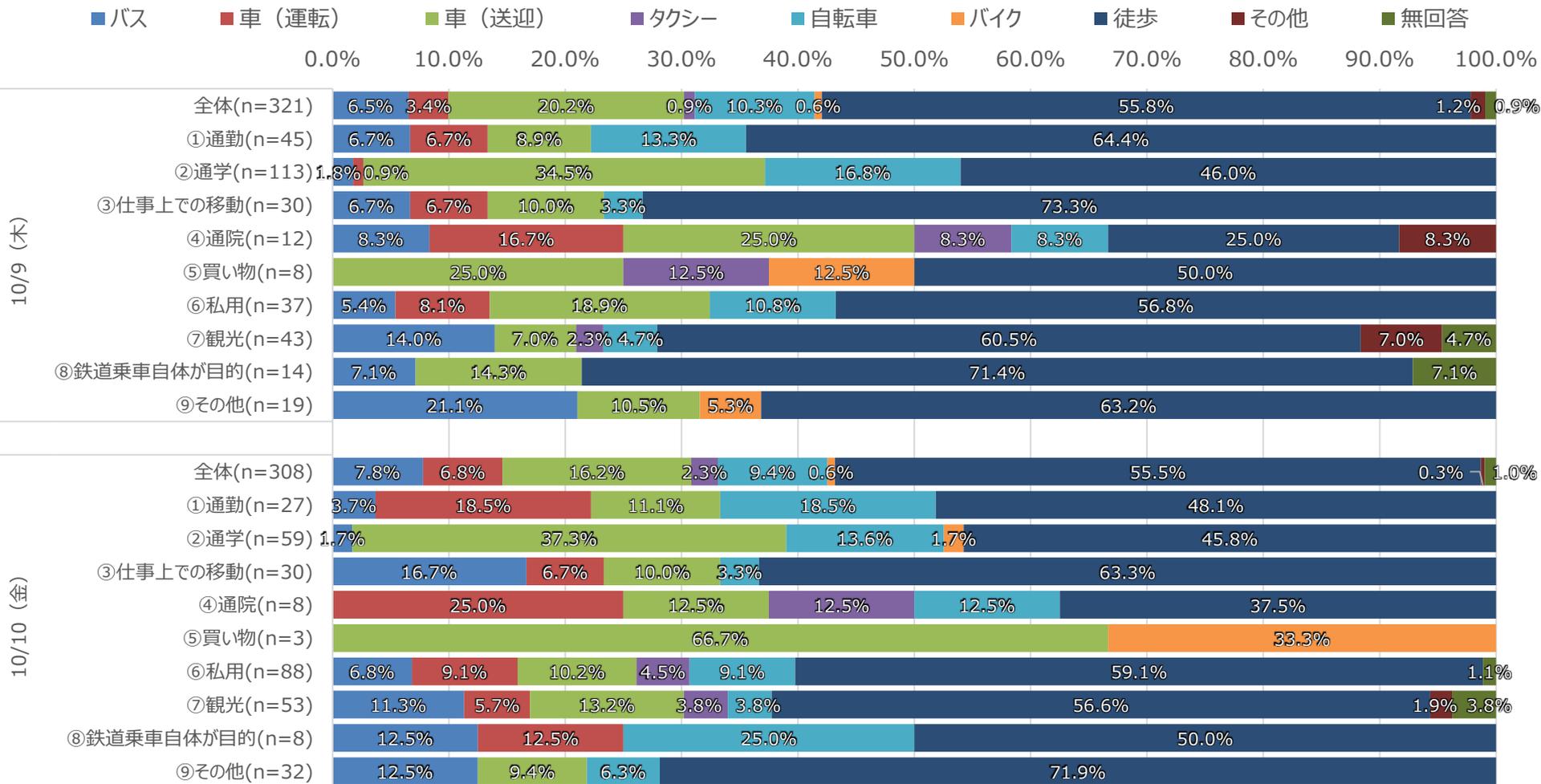
【休日】



## ③ご自宅から乗車駅までの交通手段

・全体的には「徒歩」が約55%を占め最も多い。次いで「車（送迎）」が16.2～20.2%、「自転車」が9.4～10.3%と多い。  
 ・このうち利用目的別では、徒歩に次いで「車（送迎）」の割合が、通学利用者では34.5%、通院利用者と買い物利用者では25.0%と多い傾向にあった。（10/9（木）結果を参照）

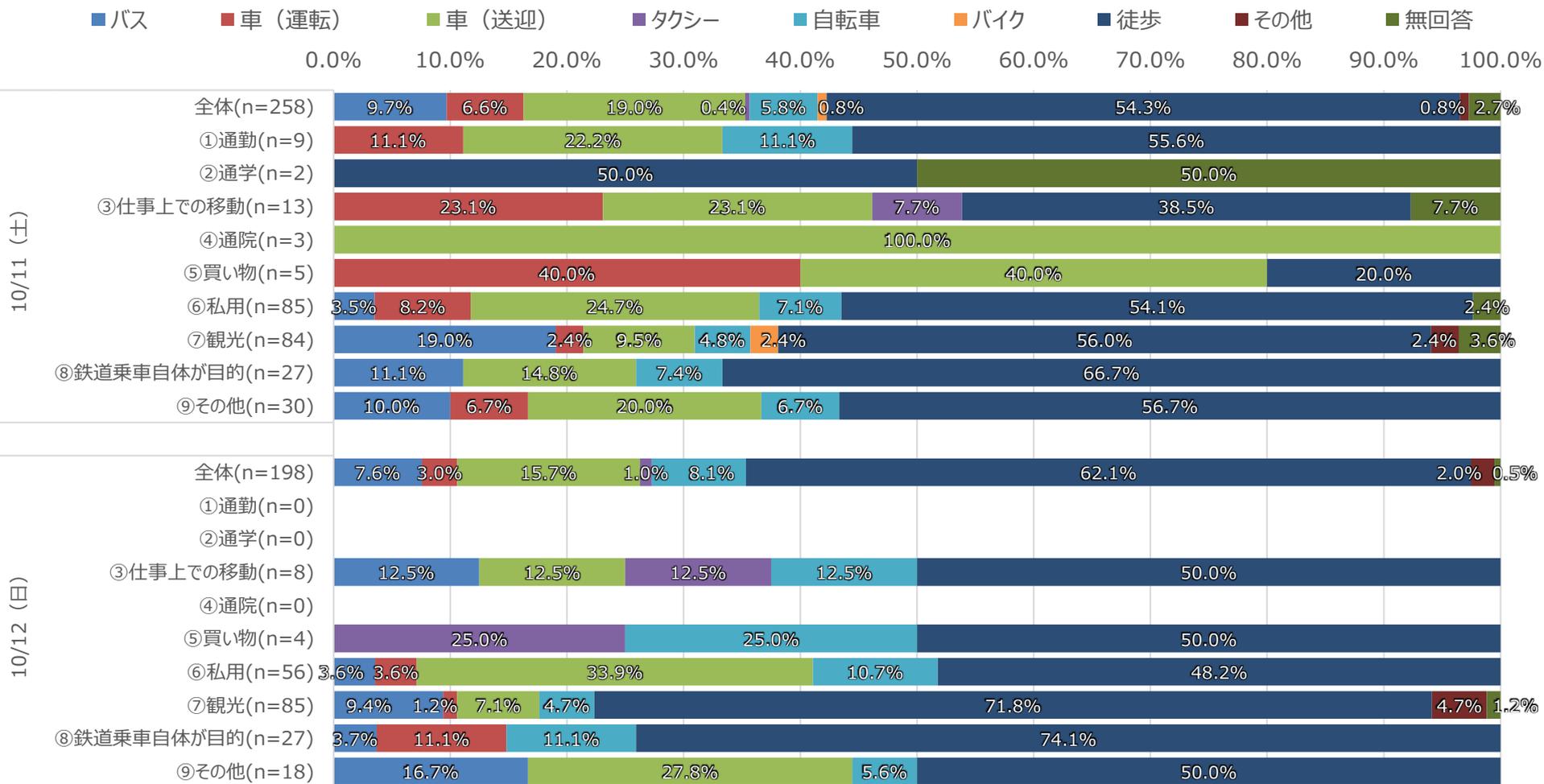
【平日】



## ③ご自宅から乗車駅までの交通手段

・全体的には「徒歩」が半数を占め最も多い。次いで「車（送迎）」が15.7～19.0%、「バス」が7.6～9.7%と多い。  
 ・このうち利用目的別ではサンプル数が少ないものの、通勤、仕事上での利用、通院・買い物等の利用では「車（運転／送迎）」の割合が多い。

【休日】

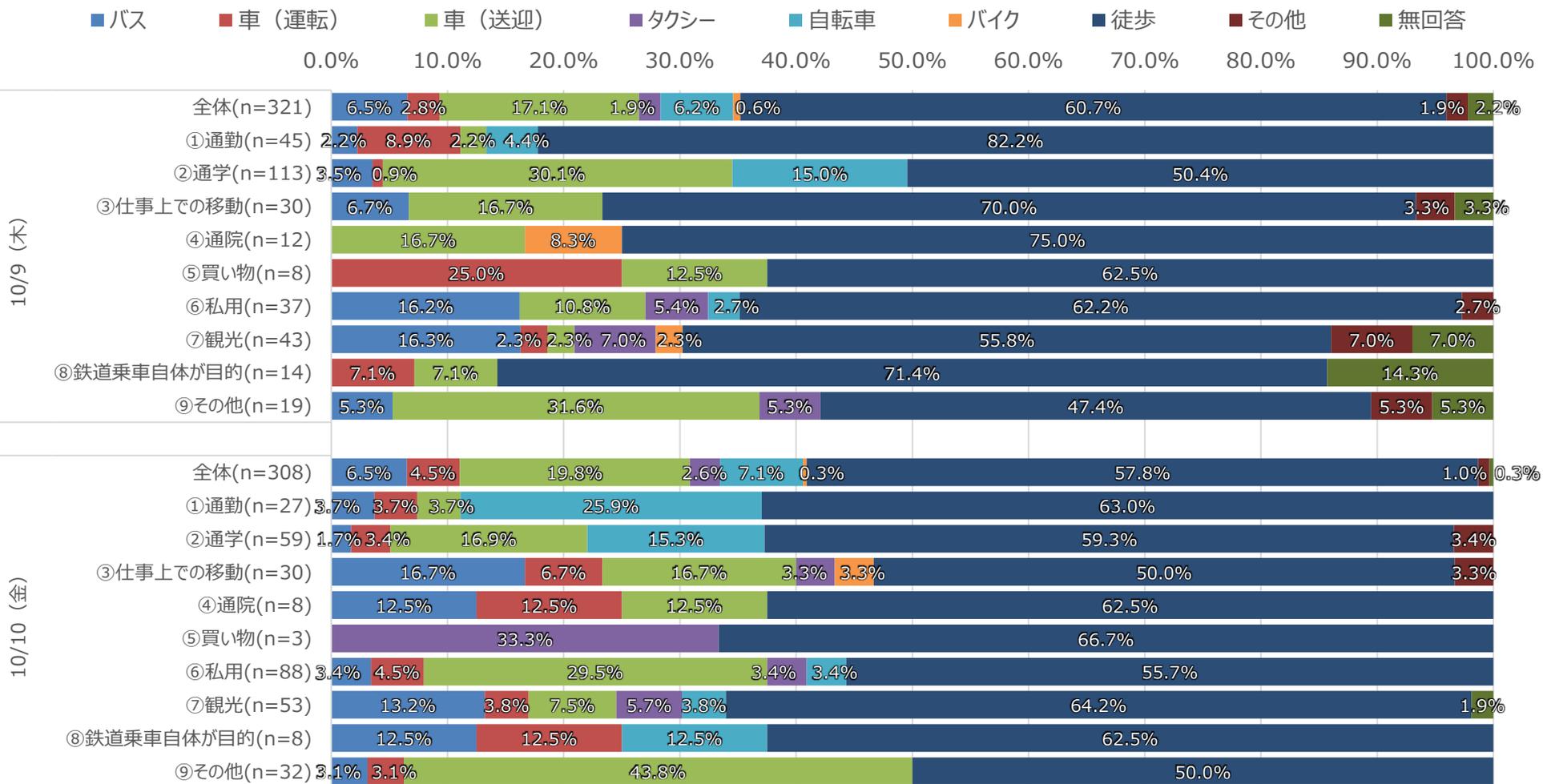


# 3. 乗降駅と2次交通手段

## ④降車駅から目的地までの交通手段

・全体的には「徒歩」が約60%を占め最も多い。次いで「車（送迎）」が17.1～19.8%と多い。  
 ・このうち利用目的別では、徒歩に次いで「車（送迎）」の割合が、通学利用者では30.1%、仕事上での利用・通院では16.7%と多い傾向にあった。（10/9（木）結果を参照）

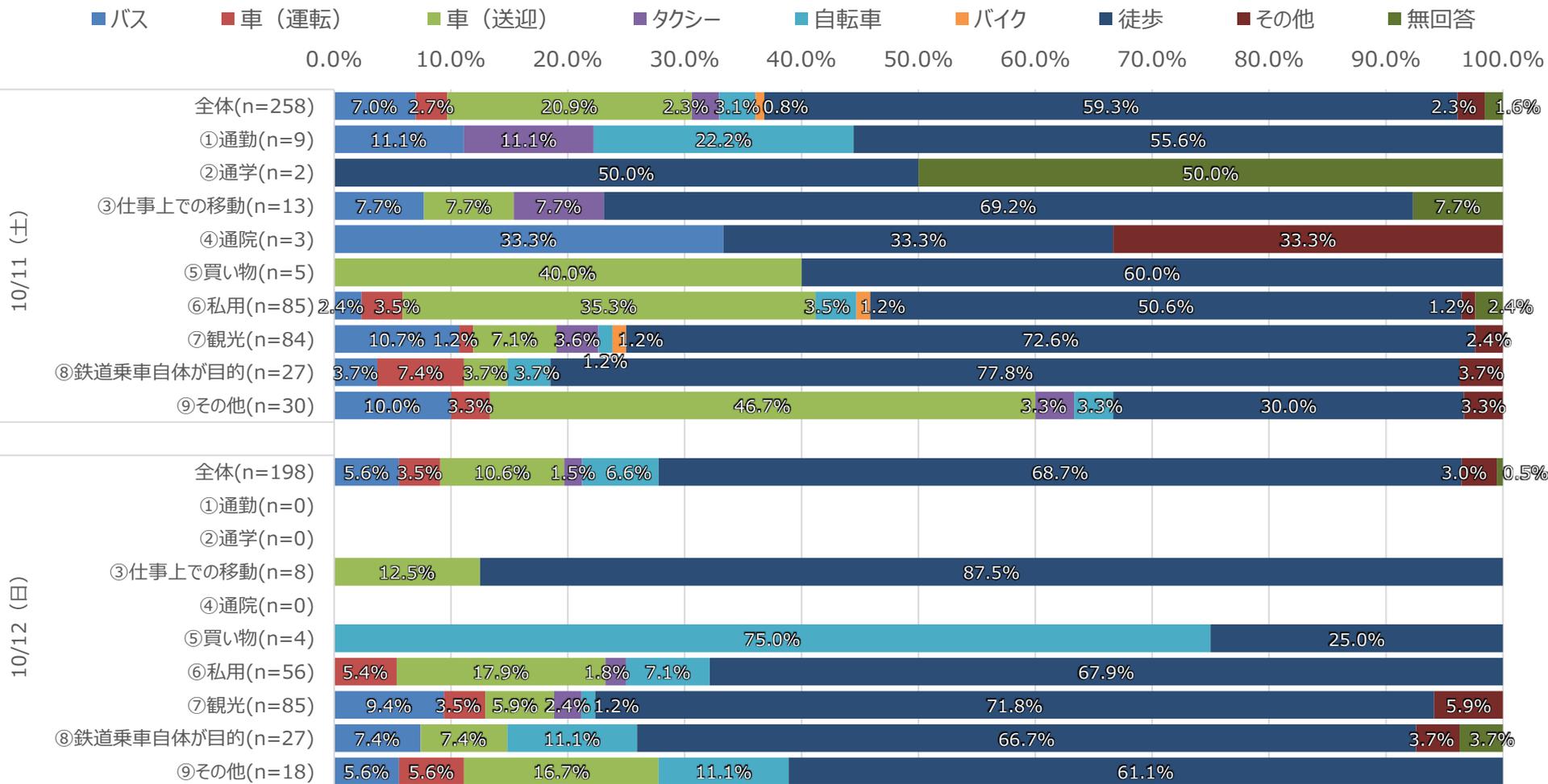
【平日】



## ④ 降車駅から目的地までの交通手段

- 全体的には「徒歩」が60%以上を占め最も多い。次いで「車（送迎）」が10.6～20.9%と多い。
- このうち利用目的別では、徒歩に次いでそれぞれ「バス」や「車（送迎）」の割合が比較的多い。

【休日】

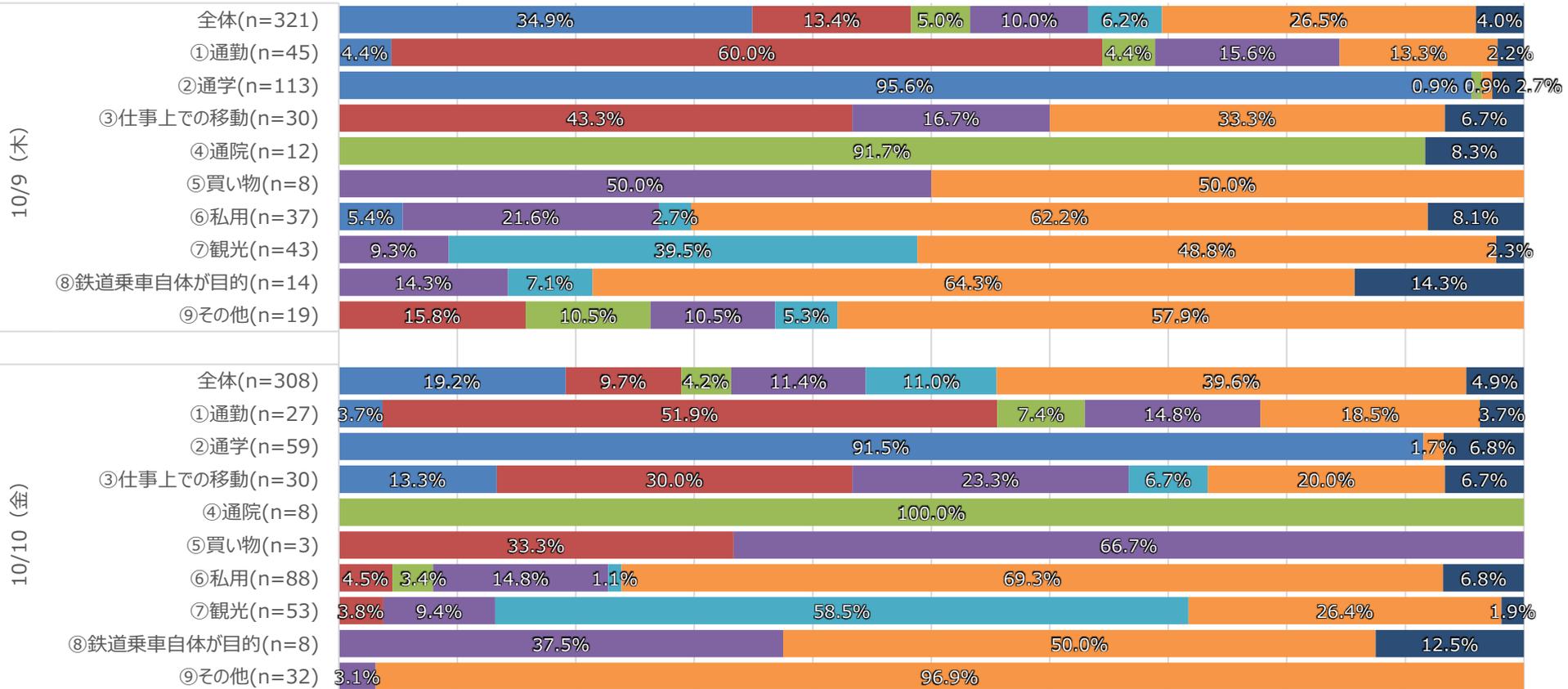


## ①目的地（大項目別）

- ・各利用目的に応じた施設を目的地として利用されている。
- ・平日は通学利用が多いことから、全体で見ると、「学校・塾」が34.9%と最も多い。（10/9（木）の結果を参照）

【平日】

「その他・不明」は実家、親戚／友人の家や●●市／町、●●駅周辺等の特定の施設名の回答が無いものが主。



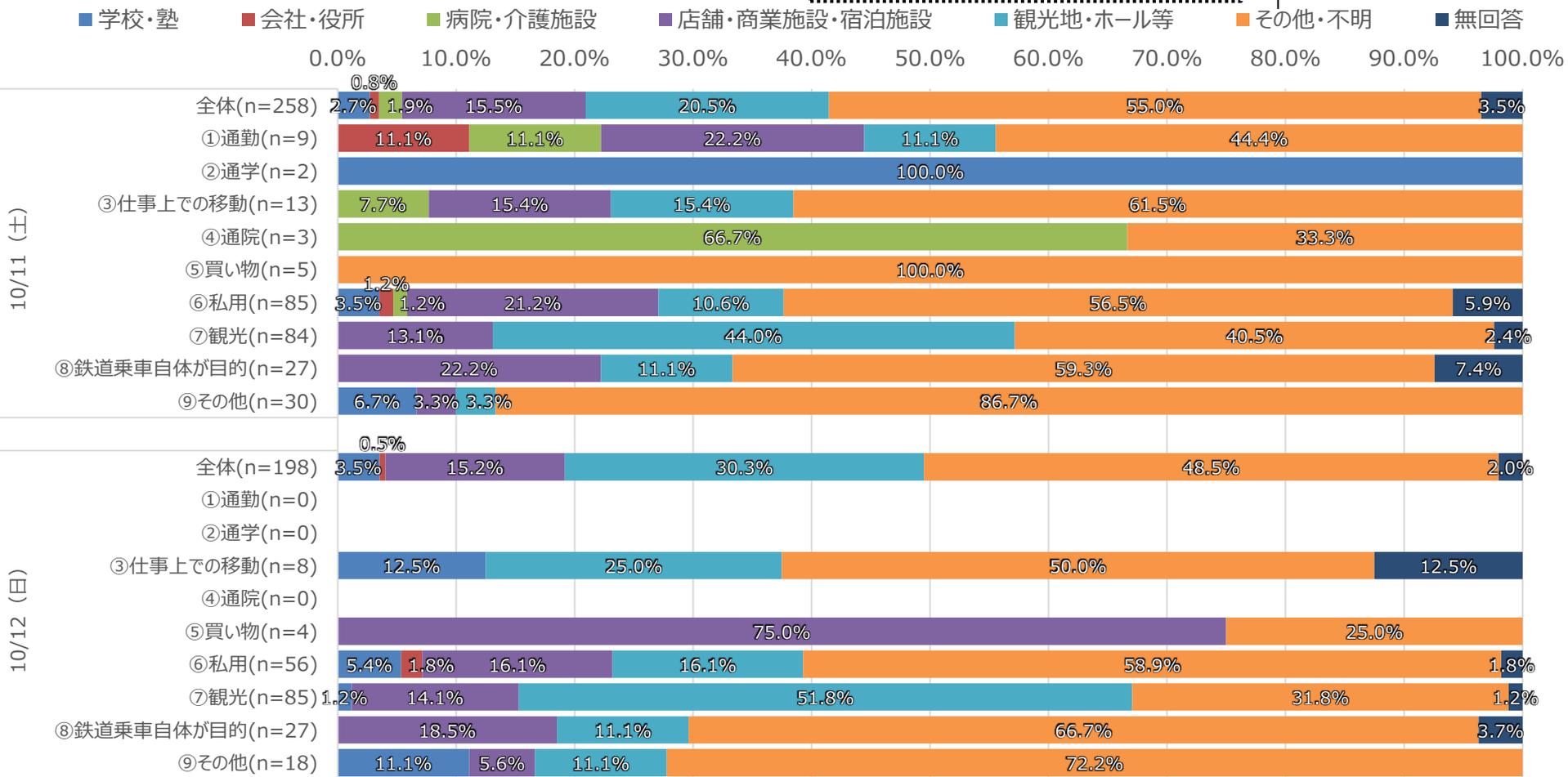
## ①目的地（大項目別）

・各利用目的に応じた施設を目的地として利用されている。

・休日は観光や鉄道乗車自体が目的の利用が多いことから、全体で見ると、「その他・不明」が約50%と最も多い。主な目的地としては、城崎温泉や特定の駅周辺、実家や友人宅等の回答が多かった。

### 【休日】

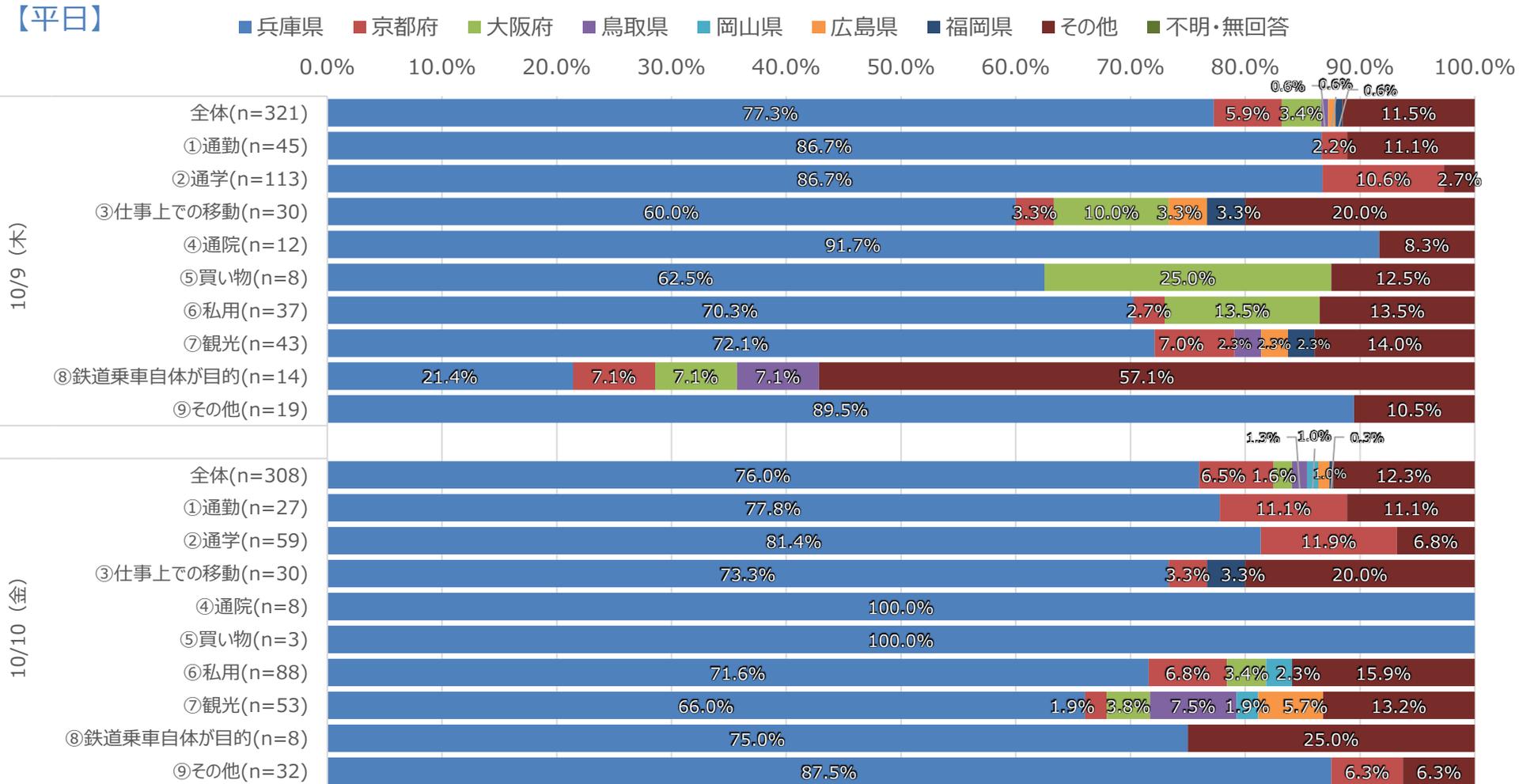
「その他・不明」は実家、親戚／友人の家や●●市／町、●●駅周辺等の特定の施設名の回答が無いものが主。



## ②目的地（都道府県別）

- ・都道府県別ではいずれの利用目的でも「兵庫県内」を目的地とする回答が6割以上を占め最も多い。
- ・次いで「大阪府」や「京都府」等を目的地とする利用が比較的多い傾向にあった。

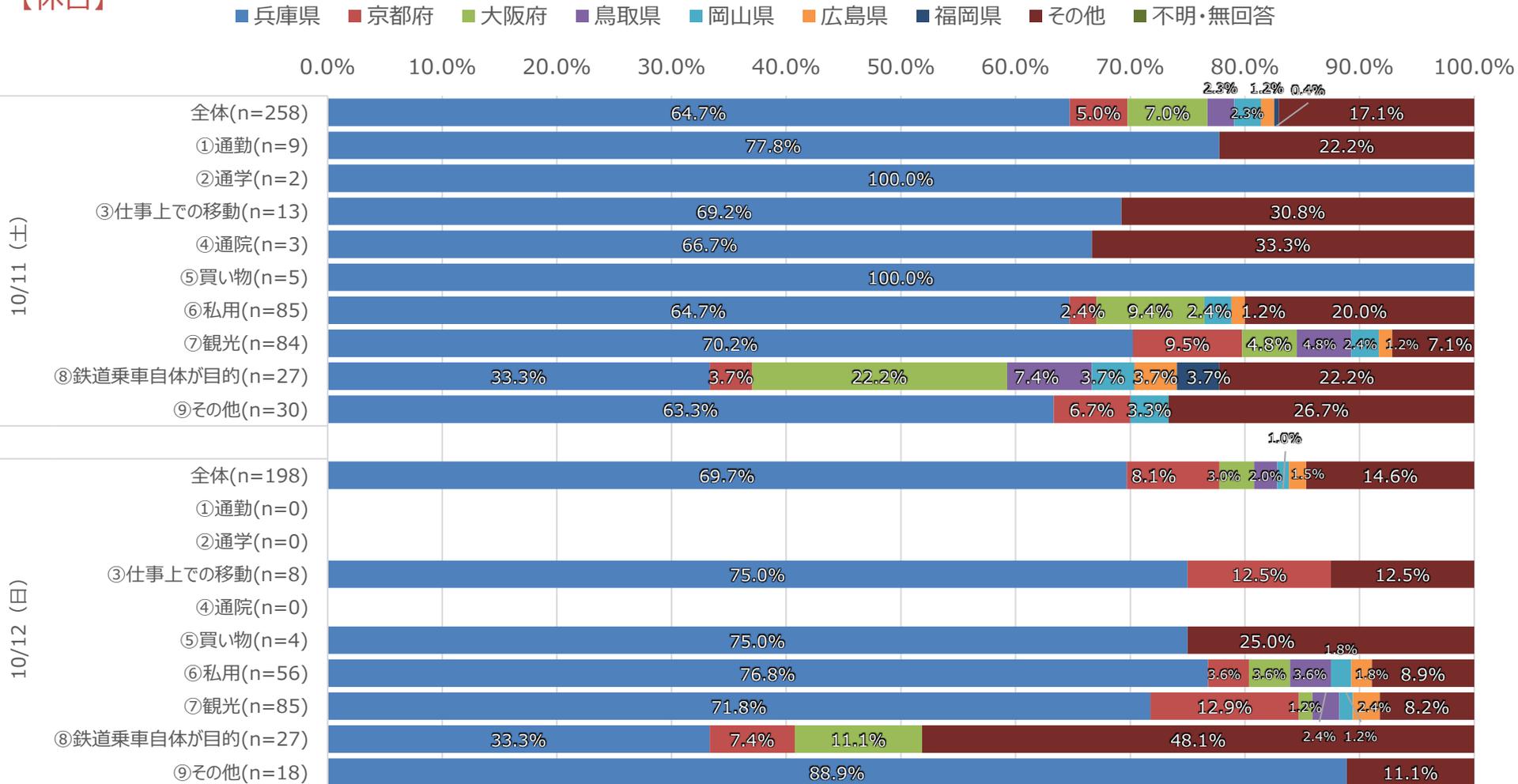
【平日】



## ②目的地（都道府県別）

- ・休日も平日同様に、都道府県別ではいずれの利用目的でも「兵庫県内」を目的地とする回答が6割以上を占め最も多い。
- ・一方で平日比べると県外を目的地とすご利用も多くなる傾向にあった。

### 【休日】



## ③目的地（兵庫県内\_市町別・詳細）

・兵庫県内の中では「朝来市」を目的地とする回答が最も多く、次いで「姫路市」、「豊岡市」が多かった。

【平日】

10/9 (木)

n=248



(回答数)

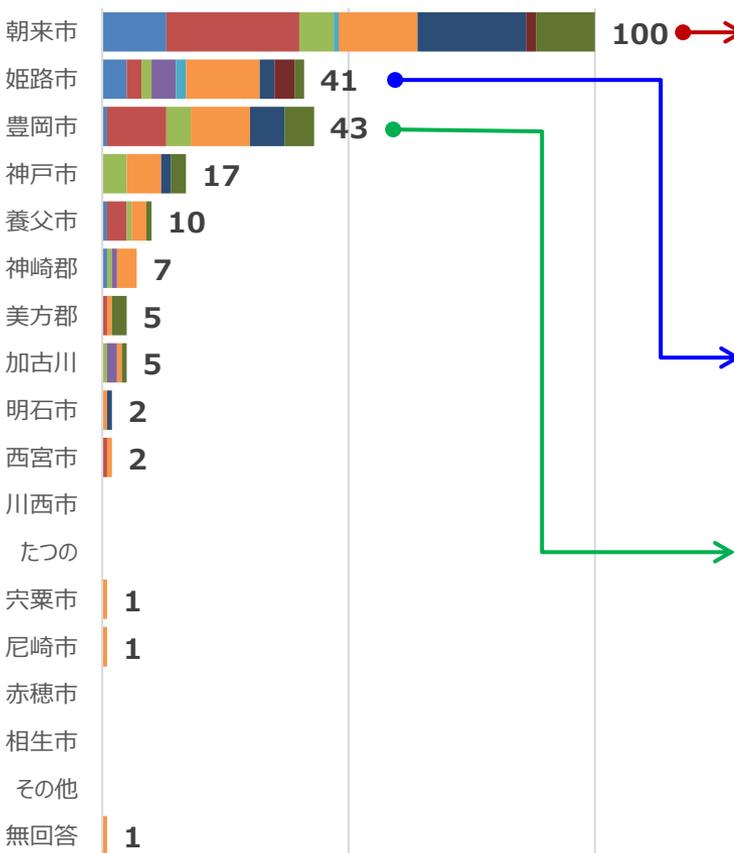


10/10 (金)

n=235



(回答数)



【主な目的地】  
※(カッコ)は回答数:  
平日2日間合計値を記載

- 朝来市
  - ・生野高校 (39)
  - ・和田山高校 (19)
  - ・竹田城跡 (27)
  - ・実家 (26)
  - ・朝来市役所 (11)
  - ・和田山中学 (8)
- 姫路市
  - ・姫路東高校 (5)
  - ・香寺高校 (4)
  - ・姫路城 (5)
  - ・その他 姫路駅周辺が多数
- 豊岡市
  - ・実家 (15)
  - ・日高高校 (10)
  - ・豊岡総合高校 (7)
  - ・近大付属豊岡高校 (6)
  - ・城崎温泉 (11)

## ③目的地（兵庫県内\_市町別・詳細）

・兵庫県内の中では「朝来市」を目的地とする回答が最も多く、次いで「姫路市」、「豊岡市」と傾向は平日と概ね同様であった。

【休日】

10/11 (土)

n=166



10/12 (日)

n=138



【主な目的地】  
※ (カッコ) は回答数：  
平日2日間合計値を記載

- 朝来市
  - ・竹田城跡 (36)
  - ・実家 (21)
  - ・竹田秋祭り (8)
- 姫路市
  - ・姫路駅周辺 (27)
  - ・姫路城 (15)
- 豊岡市
  - ・城崎温泉 (23)
  - ・実家 (6)



## ④ 帰りの経路

- 全体で見ると、「同じ経路」が平日は81%、休日は64%と半数以上が往復利用をされている結果であった。
- 利用目的別でも概ね半数以上が「同じ経路」で播但線を利用されている。
- 一方で、鉄道乗車自体が目的の利用は、6割以上の方が平日／休日ともに「違う経路」で移動されている結果であった。

【平日】

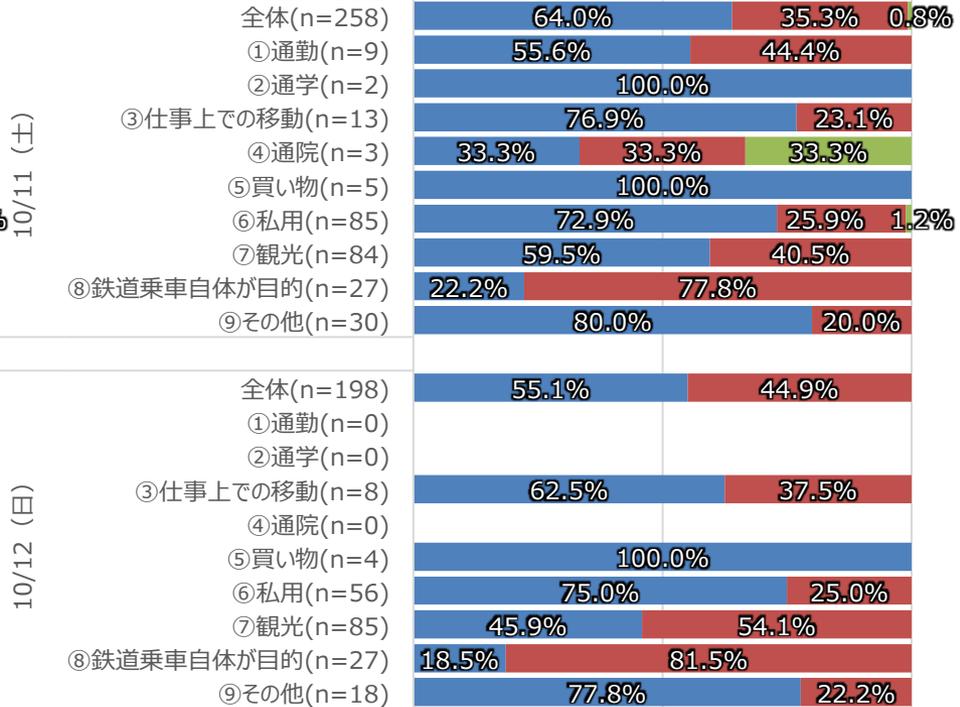
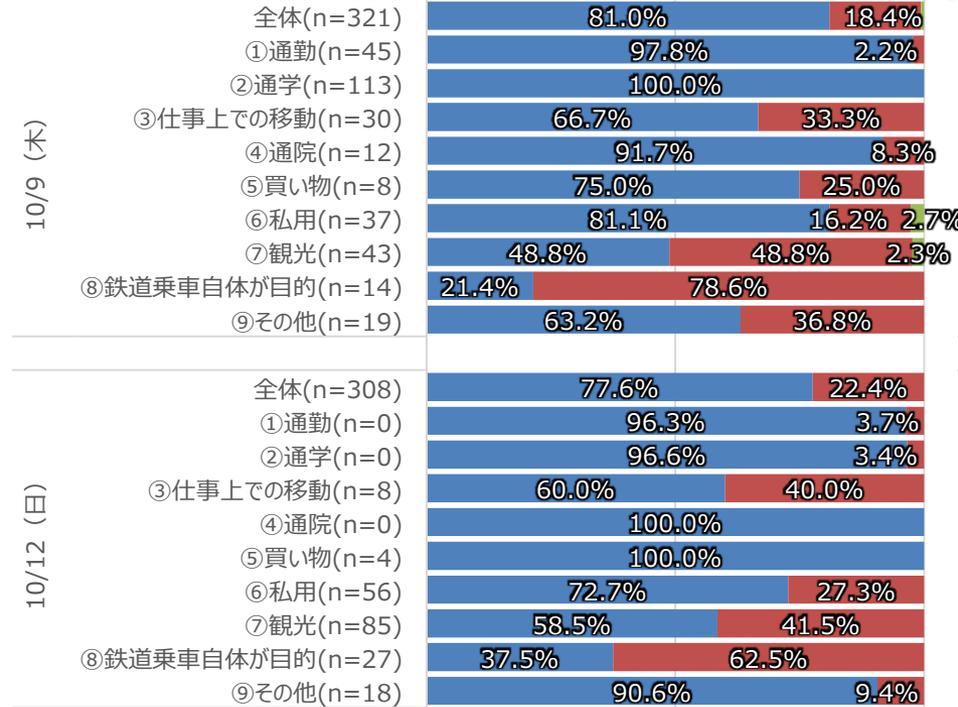
【休日】

■ 同じ経路 ■ 違う経路 ■ 無回答

■ 同じ経路 ■ 違う経路 ■ 無回答

0% 50% 100%  
0.6%

0% 50% 100%



## ① 播但線のご利用頻度

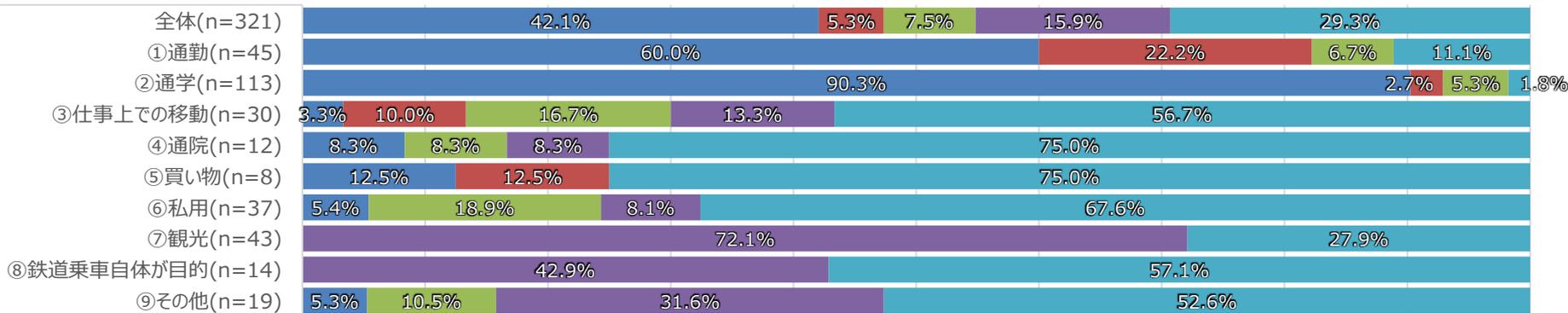
- ・平日（10/9（木）の結果を参照）は通学利用者が多いことから、全体で見ると「週5～7日」が42.1%と最も多い。
- ・一方で通勤／通学以外の利用目的では、「初めて乗車」や「それ以外」が大半を占めている結果であった。

### 【平日】

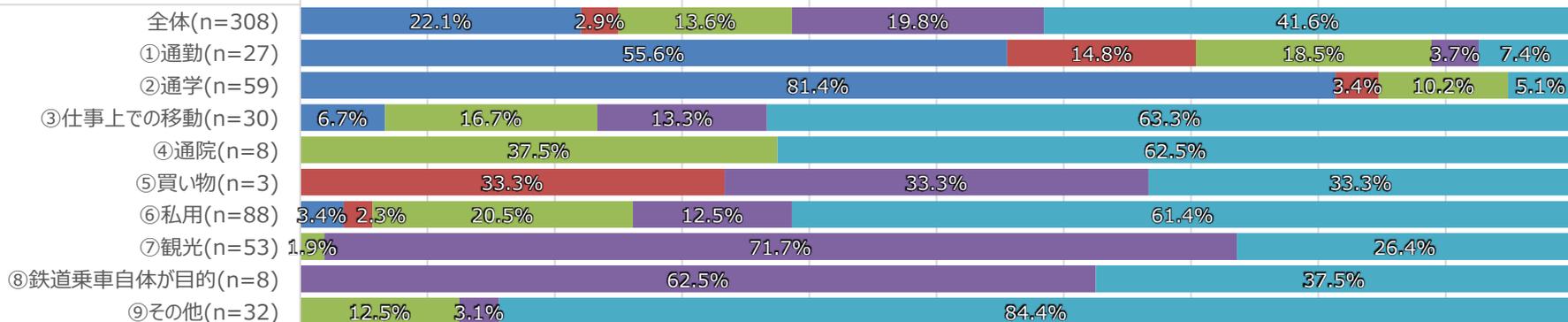
■ 週5～7日 ■ 週3～4日 ■ 週1～2日 ■ 初めて乗車 ■ それ以外 ■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

10/9 (木)



10/10 (金)



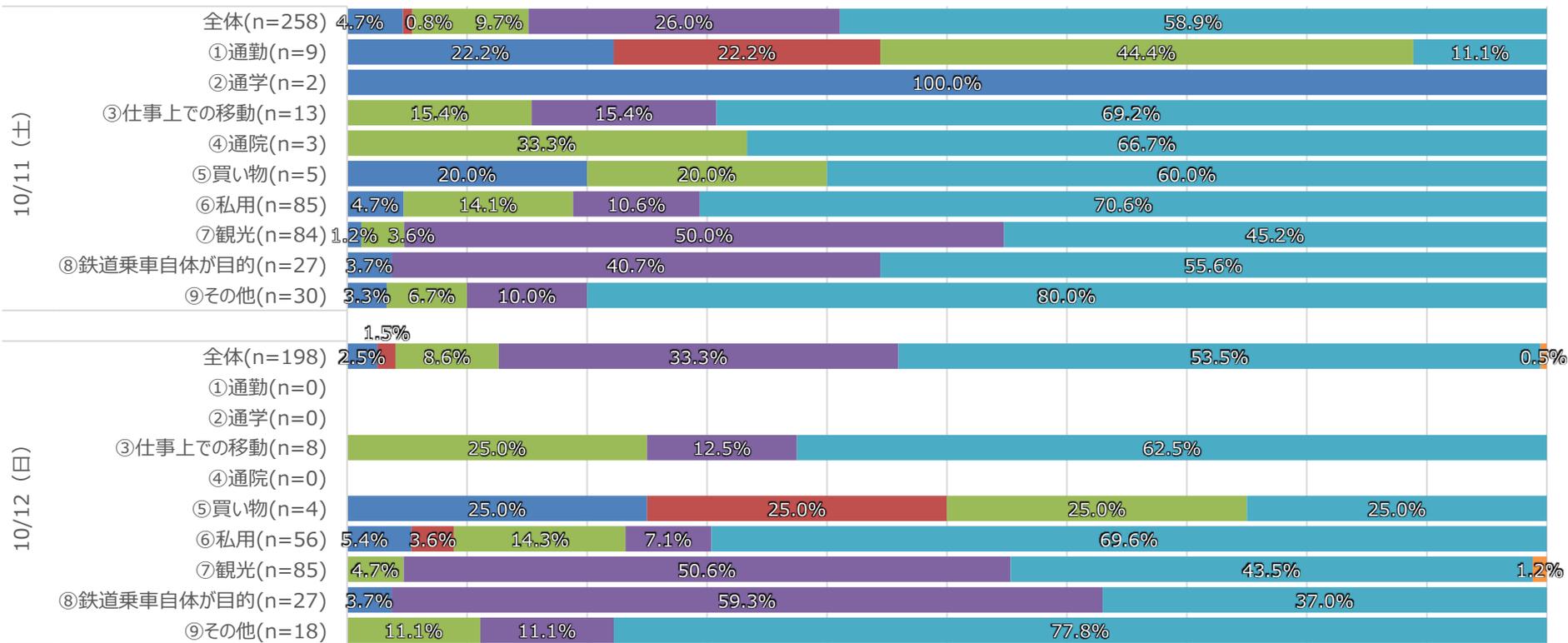
## ① 播但線のご利用頻度

・休日には私用や観光目的が多いことから、全体で見ると「それ以外」が半数以上を占め、次いで「初めて乗車」が約3割と、日常的に利用されていない方が全体の8割を占めている。

### 【休日】

■ 週5～7日 ■ 週3～4日 ■ 週1～2日 ■ 初めて乗車 ■ それ以外 ■ 無回答

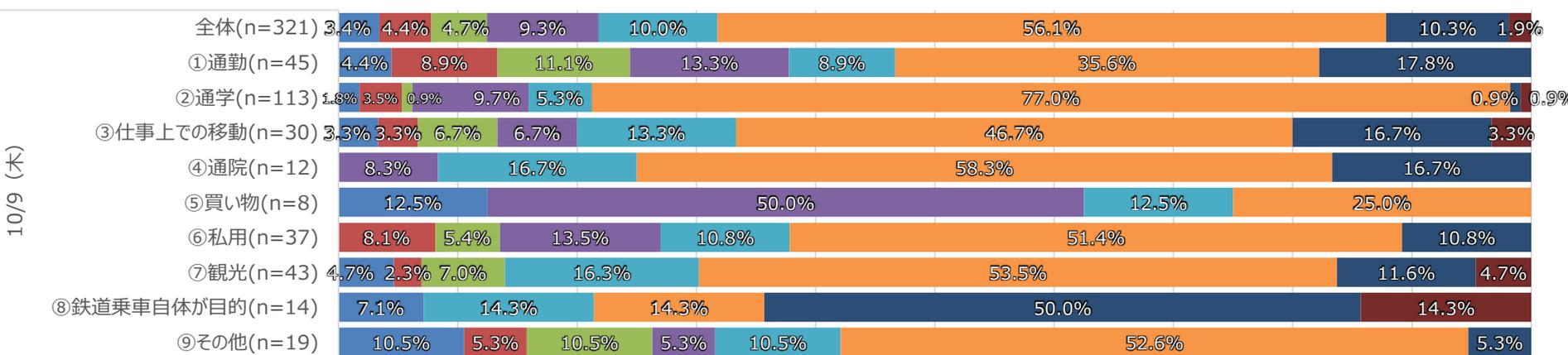
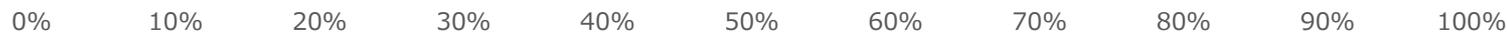
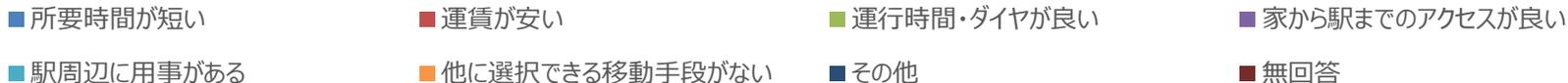
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## ② 播但線のご利用理由

・平日は通学利用者が多いことから、全体で見ると「他に選択できる移動手段がない」が約半数を占め最も多い。

【平日】



## ② 播但線のご利用理由

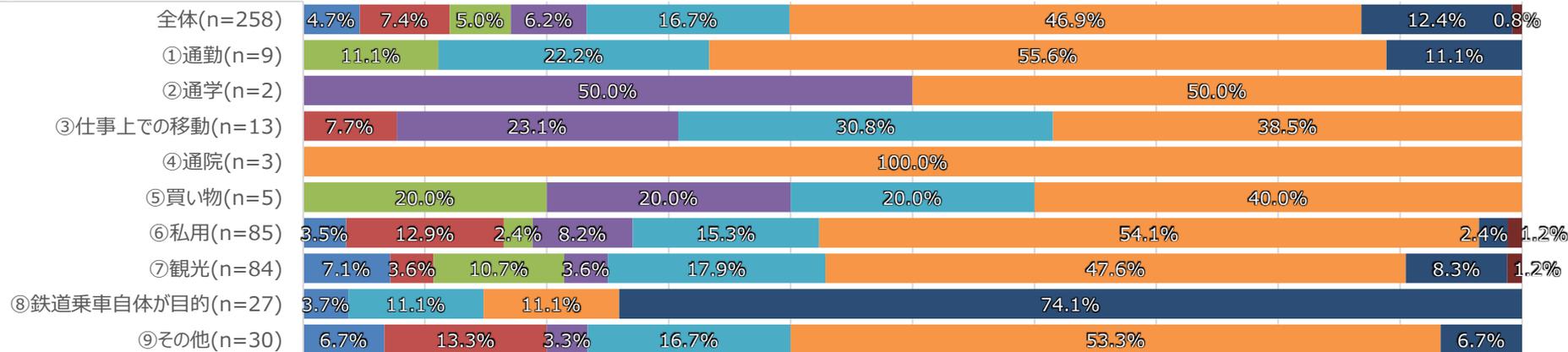
・休日も平日同様に、全体で見ると「他に選択できる移動手段がない」が44.9～46.9%を占め最も多い。  
 ・一方で平日と比較すると、「運賃が安い」や「運行時間・ダイヤが良い」、「駅周辺に用事がある」等の理由が若干ではあるが多くなっており、他の交通手段と比較したうえで播但線を選択されている方も一定数存在している結果であった。

【休日】

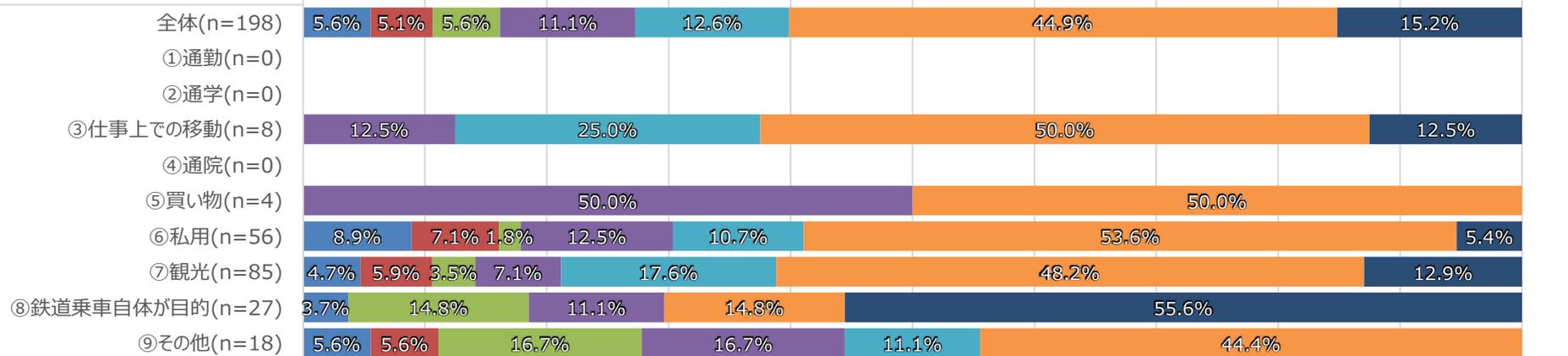
- 所要時間が短い
- 運賃が安い
- 運行時間・ダイヤが良い
- 家から駅までのアクセスが良い
- 駅周辺に用事がある
- 他に選択できる移動手段がない
- その他
- 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

10/11 (土)



10/12 (日)



・利用目的別では、平日は「通学」、休日は「私用」「観光」が多い一方で、平日・休日とも「通院」「買い物」が少なかった。

調査日\利用目的		①通勤	②通学	③仕事上での移動	④通院	⑤買い物	⑥私用	⑦観光	⑧鉄道乗車自体が目的	⑨その他	合計
平日	2025/10/9 (木)	45 14.0%	113 35.2%	30 9.3%	12 3.7%	8 2.5%	37 11.5%	43 13.4%	14 4.4%	19 5.9%	321 100%
	2025/10/10 (金)	27 8.8%	59 19.2%	30 9.7%	8 2.6%	3 1.0%	88 28.6%	53 17.2%	8 2.6%	32 10.4%	308 100%
休日	2025/10/11 (土)	9 3.5%	2 0.8%	13 5.0%	3 1.2%	5 1.9%	85 32.9%	84 32.6%	27 10.5%	30 11.6%	258 100%
	2025/10/12 (日)	0 0.0%	0 0.0%	8 4.0%	0 0.0%	4 2.0%	56 28.3%	85 42.9%	27 13.6%	18 9.1%	198 100%

## 【考察】

- ・最も利用の多い「通学」については次頁に記載。
  - ・利用の少ない「通院」「買い物」目的では、「他に選択できる移動手段がない」方、「家から駅までのアクセスの良い」方が主に使われている。
- ⇒他の移動手段を選択している方（＝現在鉄道を利用していない方）の「**鉄道を利用しない理由**」や「**鉄道を利用する条件**」を把握した上での利用促進の検討。

### ■ 播但線のご利用理由 (p.26)



# インタビュー調査を受けた考察

・播但線利用で最も多い「通学」目的の利用者の、ご自宅から乗車駅までの交通手段は「徒歩」の次に「車（送迎）」が多いことから、徒歩圏外からのアクセスが必ずしも良くない。

⇒「通学」を増やすには「駅まで・駅から」の**アクセス性の向上**がポイント。具体的な**沿線学生の移動需要**を把握した上での利用促進の検討。

## ■ご自宅から乗車駅までの交通手段（p.13）



## (参考) 播但線（寺前～和田山）高校情報

所在地	高校	最寄り駅	アクセス
朝来市	県立和田山高校	和田山駅	徒歩20分
	県立和田山特別支援学校	竹田駅	徒歩15分
	県立生野高校	生野駅	徒歩15分
	私立生野学園	全寮制	
神河町	県立神崎高校	寺前駅	バス10分